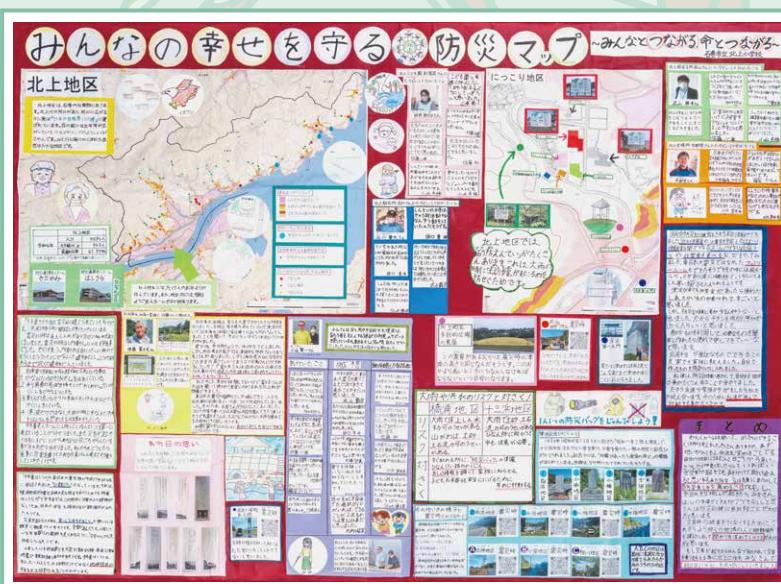


2025
年度

第22回 小学生のぼうさい探検隊 マップコンクール

入選作品集



2025
年度

第22回

小学生のぼうさい探検隊マップコンクール



しんさようす
審査の様子

2P

にゅうせんさくひんしょうかい
入選作品紹介

6P

しんさきじゅん
審査基準および応募作品の傾向

おうばさくひん
けいこう

3P

おうばじょうきょう
応募状況

31P

しんさそうひょう
審査総評

4P

かこにゅうせんさくひん
過去の入選作品

34P

入選一覧

文部科学大臣賞

石巻市立北上小学校
「石巻市立北上小学校4年生」(4年生／宮城県)

防災担当大臣賞

沖縄県豊見城市ないろ児童クラブ
「ナインカラーズ探検隊」(3~6年生／沖縄県)

消防庁長官賞

安和子どもの家
「安和 安全安心 探検隊」(3~5年生／沖縄県)

まちのぼうさいキッズ賞(日本ユネスコ国内委員会会長賞)

ひばり放課後児童クラブ
「ひばりルール守り隊」(1、2年生／沖縄県)

気象庁長官賞

東部こども公民館 もめくらぶ
「かもめくらぶ探検隊」(3年生／福島県)

キッズリスクアドバイザー賞(日本損害保険代理業協会賞)

阿久根市立阿久根小学校
「安全安心グループ」(3年生／鹿児島県)

未来へのまちづくり賞(朝日新聞社賞)

愛南町立柏小学校
「早めのひなんよびかけ隊」(4~6年生／愛媛県)

わがまち再発見賞(日本災害救援ボランティアネットワーク賞)

Kids Creation Afterschool
「KCAぼうさい探検隊」(1~6年生／茨城県)

ぼうさい探検隊賞(日本損害保険協会賞)

安楽島キッズ探検隊
「安楽島キッズ探検隊」(1~3、5、6年生、年中、年長／三重県)

審査員特別賞

福島県相馬市川原町児童センター みづばち防災探検隊
「みづばちすみればうさい探検隊」(3年生／福島県)

西部子ども公民館放課後児童クラブ こすもすクラブ
「こすもす防災探検隊」(4年生／福島県)

公益財団法人かわさき市民活動センター 下沼部小学校わくわくプラザ
「下沼部小わく はじめてのぼうさい探検隊に チャレンジ！チーム」(1~4年生／神奈川県)

かほく市子ども会 宇ノ気支部 内日角子ども会
「ちびっこ探検隊in内日角」(6年生／石川県)

かほく市子ども会 宇ノ気支部 狩鹿野子ども会
「KARUGANO守り隊」(6年生／石川県)

篠原第1・第2こどもの家
「しのはらのみんなの安全をまもり隊」(5年生／滋賀県)

高松市立塩江小学校
「塩江防災探検隊」(6年生／香川県)

キッズステーションNARUTO
「あんぜんキッズたい」(1、2年生／徳島県)

デジタルマップ特別賞

豊浦町立豊浦小学校
「2班 雪国安全キッズ」(4年生／北海道)

大崎市立三本木小学校
「やまなみ探検隊」(5年生／宮城県)

しばうらぼうさいたんけんチーム
「しばうらぼうさいたんけんチーム」(2年生／東京都)

公益財団法人かわさき市民活動センター 千代ヶ丘こども文化センター
「ちよこぶんプラザーズ」(3、4年生／神奈川県)

本山第三小学校区防災福祉コミュニティ MKBT
「MKBT」(3~6年生／兵庫県)

ごあいさつ

日本損害保険協会会長の船曳です。「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」主催者を代表して、ご挨拶申し上げます。

コンクールに入賞された皆さん、誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

また、コンクールに参加いただいた皆さん、たくさんの素敵な作品をありがとうございました。

22回目となる今回のコンクールには、407の小学校、子ども会、児童館などから、6,665人が参加し、1,289点の作品を応募いただきました。どの作品も、自分たちが暮らすまちを探検

したことであつた危ない所や課題がご自身の言葉でまとめられており、防災・防犯・交通安全の意識の高まりに繋がったことがうかがえました。

今回は、2025年7月に発生したカムチャツカ地震による津波避難の経験をもとにした日ごろの備えや、クマなどの野生動物の出没、熱中症対策などをテーマにしたマップも見られ、環境の変化を敏感にとらえて、様々な視点で学びに繋げていることを頼もしく思いました。この他にも、通学路の危険箇所や避難場所の改善に繋がった事例や地域の方々との対話を通じて対策を考えた事例など、「ぼうさい探検隊」の活動を通じて、地域の方々との繋がりが深まり、防災に対してまち一体となって取り組む意識が高まっていることを感じる作品も多くありました。皆さんの活動を通じて、より安心・安全なまちにしていく力に繋がっていることを、すばらしく思います。

日本は、世界でも自然災害が多い国一つであり、日ごろから自分自身や家族を守るための知識や行動を学んでおくことが非常に大切です。また、周囲の人を災害から助けるために自分たちができるることを考えた作品も見受けられました。防災・防犯・交通安全について学び、皆さんが住む地域全体で助け合うことが、地域安全において、とても大切なことだと思います。

今回、皆さんがマップづくりを通じて気づいたことや学んだことを、家族や友達、地域で共に暮らす方々にもぜひ伝えください。皆さんが中心となって安心・安全な地域づくりを進めていただけると大変強く、とてもうれしく思います。最後に、本コンクールの実施にあたって指導にあられた先生方、団体・地域・保護者の皆さんにおかれましては、多大なるご支援とご協力をいただき誠にありがとうございました。また、本取組みにご理解とご協力を賜りました関係府省庁、自治体の皆さんにも心より御礼申し上げます。

今後も「ぼうさい探検隊」が安心・安全な地域社会の実現に繋がっていくことを願い、私からのご挨拶とさせていただきます。

一般社団法人
日本損害保険協会
会長 船曳 真一郎



「ぼうさい探検隊」とは…

子どもたちが楽しみながらまちを探検し、まちにある防災・防犯・交通安全の施設や設備を発見してマップにまとめる活動のことです。マップ作成後は、発表を通じて活動を振り返り、学んだことをみんなで共有します。子どもたちの「安心・安全への意識」が高まるだけでなく、まさに「地域ぐるみの安全"共有"」が着実に深まり、コミュニティの強化にも繋がります。

■主催：日本損害保険協会／朝日新聞社／日本災害救援ボランティアネットワーク

■後援：内閣府／文部科学省／警察庁／消防庁／気象庁／UNESCO／日本ユネスコ国内委員会／日本ユネスコ協会連盟／全国都道府県教育委員会連合会／沖縄県／アジア防災センター／児童健全育成推進財団／日本損害保険代理業協会／ボイスカウト日本連盟／ガールスカウト日本連盟／NHK／防災士研修センター／茨城県警察



審査の様子

2025年度のコンクールには、全国の小学校や子ども会・児童館・少年消防クラブなど、407団体から6,665人の児童が参加し、1,289作品が寄せられました。第1回から第22回までの参加人総数は累計24万2千人を超えるました。審査員の方々から、「どの作品にもそれぞれすばらしい視点があるって、甲乙つけがたい」「どの作品からも、児童と地域の方々との繋がりがひしひしと伝わってきて、選出が難しい」などの感想が寄せられました。

審査日程

事務局審査：2025年11月13日(木)
第一次審査：2025年11月20日(木)

本審査：2025年12月3日(水)
結果発表：2025年12月17日(水)

本審査の様子



本審査員

渥美 公秀 氏 大阪大学大学院人間科学研究科 教授

木下 史子 氏 文部科学省 総合教育政策局
男女共同参画共生社会学習・安全課 安全教育調査官

高智穂さくら 氏 内閣府 政策統括官(防災担当)付
参事官(普及・防災教育・NPOボランティア連携担当)付 主査

土田 裕康 氏 総務省消防庁 国民保護・防災部 防災課 地域防災室 課長補佐

岩佐 敬昭 氏 文部科学省 国際統括官付 国際交渉分析官

橋本 徹 氏 気象庁 総務部 企画課 地域防災企画室 室長

小田島綾子 氏 一般社団法人 日本損害保険代理業協会 会長

山田 優 株式会社 朝日新聞社 ブランド企画部 部長代理兼CSR担当部長

寺本 弘伸 特定非営利活動法人 日本災害救援ボランティアネットワーク 常務理事

川本 哲文 一般社団法人 日本損害保険協会 常務理事

審査基準および応募作品の傾向

審査基準

■提案性

(子どもの視点でのまちへの提案や、地域改善へ向けた気づき・提案)

- ・子どもならではの発見やまちへの提言が記載されているか
- ・マップを通じて伝えたいことが明確になっているか

■教育効果性

(子どもたちの防災・防犯・交通安全意識の変化、地域への愛着・関心の醸成)

- ・マップ作成前と後で子どもたちの防災・防犯・交通安全などへの意識に変化があったか
- ・地域住民とのコミュニケーションなどにより、多くの人から学んだ姿勢が見えるか

■地域性・テーマ性

(地域固有の災害特性和問題点、まちの様子や特徴)

- ・地域の災害や危険な場所を想定した作品づくりができるか
- ・地域災害の特性や問題点などが明確になっているか

■提案性

- 防災倉庫、AED、標識やガードレールの設置、街灯や子ども110番の増設など、テーマごとに自治体や関係団体に要望・提言した作品が多く見られた。
- より多くの人々に伝わるよう、避難時における外国人への配慮として英語を併記したり、低学年でも読めるよう漢字にふりがなを振ったりするなどの工夫が施された作品が見受けられた。

■教育効果性

- 学校の先生、地域住民や警察官などの地域に詳しい人に、過去の災害状況、不審者情報や交通事故の発生しやすい場所などをインタビューし、人のコミュニケーションを通じて学びを深めていることが分かる作品が多く見受けられた。
- 地域住民へのインタビューや、公的機関のサイトを用いた情報収集を通じて学んだ地域の安全・危険箇所をマップに丁寧にまとめたことで、子どもたちの安全意識の向上が読み取れる作品が多く見受けられた。

■地域性・テーマ性

- 阪神・淡路大震災、東日本大震災、2024年の能登半島地震や2025年7月に発生したカムチャツカ地震による被害や教訓をテーマに、防災バッグなどの日ごろの備えや、実際の避難時における具体的な行動に触れた作品が多く見受けられた。
- 近年増加傾向にあるクマなどの野生動物の出没や熱中症対策などの具体的なテーマを設けた作品が見受けられた。

- 警察や学校などからの不審者情報を参考に、子どもたちが安心して駆け込める子ども110番の家やセーフティマークのある店舗などを調べ、いざというときに役立つ実用的な作品も見受けられた。
- 「い・か・の・お・す・し」などの防犯標語を用いつつ、街灯のない路地や、木や草むらによる死角が生まれやすい公園などを示し、不審者への注意喚起を行う作品が多く見受けられた。
- 防犯標語「ついていかない」「車にのらない」「おおぞれを出す」「すぐ逃げる」「大人の人にしらせる」のこと。

- 道幅が狭くガードレールもないため、歩行者と自動車の距離が近いなどの通学路における危険箇所を示した作品や、地域住民などによる見守り活動への感謝の言葉を添えた作品が多く見受けられた。
- 大型スーパーの開発や宅地の拡大により、自動車・自転車の交通量が変化し危険が増した箇所や、過去に交通事故が発生した交差点・道路へのガードレールや標識などの設置を求める作品が見受けられた。

■ビジュアル性

- クイズやオリジナルの地域マニュアルなどを作成することで理解を深めつつ、マップへの興味を惹かせる工夫が施されている作品が多く見受けられた。
- ひもやセロハン、立体模型などを用いて標高や浸水エリアを分かりやすく表現したり、危険・安全な場所の度合いを数段階に分けたマークなどで表現したりすることで、視覚的に伝わりやすい工夫をしている作品が多く見受けられた。

■ビジュアル性

(地図として見やすく、情報を簡潔に伝えるための工夫)

※紙作品のみ

- 色や写真、イラストを効果的に使用しているか
- 多くの人に見やすく、分かりやすい作品になっているか
- 指導者が子どもたちの言動や想いをしっかりと把握し、作品紹介用紙に記入しているか

■専門家ならではの観点での評価

※デジタルマップ(タブレット)作品のみ

- 単に事象・危険だけでなく、写真の場所を説明するコメント(高い壇がある、信号機がないなど)が記載されているか
- 実際に発見したものや場所を記載するだけでなく、コメント欄に発見したものや場所に対する子どもたちの感想や考え方などと一緒に記載されているか
- 指導者が子どもたちの言動や想いをしっかりと把握し、作品紹介用紙に記入しているか

審査総評



しん さ いんちょう
審査員長
あつ み ともひで
渥美 公秀 氏
大阪大学大学院
人間科学研究科 教授

審査総評

今年も多くの作品をご応募いただきありがとうございます。

当コンクールは、応募作品を4つの基準（提案性、教育効果性、地域性・テーマ性、ビジュアル性※模造紙作品のみ、専門家ならではの観点※デジタル作品のみ）で審査しています。それぞれの基準をもとに審査を進める中で見られた作品の特徴をご紹介します。

まず提案性については、低学年でも分かるよう漢字にふりがなを振ったり、外国人への配慮として英語を併記したりするなど、マップを見る相手によって伝わりやすくするための工夫が施されたマップが見受けられました。

次に、教育効果性については、例年に引き続き、子どもたちが多く地域の方と実際に交流している姿がうかがえました。地域性・テーマ性については、防災をテーマとした作品には、クマの出没や熱中症対策、防災グッズの備えについてまとめられていたり、防犯をテーマとした作品には、自分たちが住むまちの昼と夜の様子を比較して、どのように危険か調査していました。

また、交通安全のテーマについては、道路工事や開発によって変化する地域において、どのように安全を維持していくかという点について深く考えることができました。

以上が今年度のマップの特徴であり、次回のマップ作成においても参考にしていただける点です。来年度以降も楽しくマップ作成を続けていただけるとうれしいです。

文部科学大臣賞

石巻市立北上小学校の作品は、地域で何が起きたのか、今後災害が発生した場合にどのような対応をすればいいのかということについて、インタビューを通じて学びを深めている様子がよく分かるマップです。自分たちの住む地域で起きた災害や、当時のことを知らない子どもたちが、災害伝承にも目を向けて作成しており、多様な情報を盛り込んだ学びの多いマップである点を評価しています。

防災担当大臣賞

沖縄県豊見城市なないろ児童クラブの作品は、全体の色がカラフルで、防災情報も整理されていることから、読み手にとってとても伝わりやすいマップです。防災の観点では、災害時に非常持ち出し袋などの事前準備が推奨されることを踏まえ、100円ショップの商品を構成して作った1000円分の防災グッズを紹介するなど、実に分かりやすく表現している点を評価しています。

消防庁長官賞

安和子どもの家の作品は、防火水槽などの地域の消防施設をしっかりと調べ、火災が起きた場合に、どのような対応が必要かを丁寧に調べたマップです。また、災害時に危険が及ぶ可能性のある場所の調査や、消防士へのインタビュー、凡例も書かれており、マップとして必要な情報が整理されていることを評価しています。

まちのぼうさいキッズ賞 (日本ユネスコ国内委員会会長賞)

ひばり放課後児童クラブの作品は、一枚の紙の中で、コンパクトに情報をまとめていることから、見やすさやシンプルさにも注意を払い、見た人がすぐに必要な情報を締めるような工夫が施されているマップです。マップを見てもらうための工夫をすることも大事であることを伝えられる、大変意味深い受賞であったと思います。

きょうとうちょうかんしょ 気象庁長官賞

東部こども公民館かもめクラブの作品は、2025年7月30日のカムチャツカ地震による津波発生の可能性について気象庁が情報発信したことに着目して作成されたマップです。もし津波が来ていたらどのように逃げ、助け合うのかということを想定して活動した様子がマップに記載されています。気象庁が出している情報を"自分ゴト"として捉え、マップにまとめられている点を評価しています。

キッズリスクアドバイザー賞 (日本損害保険業協会賞)

阿久根市立阿久根小学校の作品は、交通安全をテーマに、危険箇所を丁寧に探し、見やすく掲示しつつ、参加した子どもたちの振り返りが詳しく書かれているマップです。自分たちが知った情報を詰め込むだけでなく、シンプルに伝わるかどうかという点にも配慮してマップ全体を構成していることで、低学年が見てもきちんと分かるマップになっている点を評価しています。

未来へのまちづくり賞 (朝日新聞社賞)

愛南町立柏小学校の作品は、避難誘導の看板を付け、さらに看板に二次元コードを貼るなど、継続参加によって取組みに進化が見られたマップです。マップの内容について、地域の人だけではなく、地域以外の来訪者がいることにも配慮して作成している点を評価しています。また、災害発生時の避難は、昼間に実施するとは限らないことに着目し、夜の避難についても考えられていた点を高く評価しました。

わがまち再発見賞 (日本災害救援ボランティアネットワーク賞)

Kids Creation Afterschoolの作品は、熱中症を題材にしています。熱中症を災害の一つ、あるいは地域の安全安心に関わる出来事として、参加した1~6年生の幅広い学年の子どもたちが認識していることが伝わってきます。市の体育館の開放や、小学校入学時に配付される黄色い傘を晴雨兼用にしてほしいといった、子ども視点での提案も評価しています。

たんけんたいしょ ぼうさい探検隊賞 (日本損害保険協会賞)

安楽島キッズ探検隊の作品は、2025年7月30日のカムチャツカ地震発生時に地域の人が避難したかどうかを調べ、インタビューをした結果をまとめているマップです。活動を通じて、子どもたち自身が助ける側に回ることができる点や、避難しなかった人がいる点に気づけていますことから、このマップを用いて地域での防災意識の向上に努めてほしいと思います。

審査員特別賞

全国から1,289作品の応募をいたたく中で、模造紙17作品を選定するのはとても難しいものでした。その中で、審査員特別賞に選ばれた作品は、インタビューをしっかりとしているマップや、地域の構造を立体的に表すことで一目見て分かりやすく表現しているマップ、地域の昼と夜の様子を比較して調査しているマップがありました。また、複数の審査員から良いマップと評価されたマップもあり、どれもすばらしいものでした。地域の防災・防犯・交通安全として、これからも地域の人が安全に過ごせるように、作成したマップを活かしていただきたいと思います。

デジタルマップ特別賞

今年は全国から548点のデジタルマップ作品をご応募いただきました。今回受賞されたマップは5作品です。雪国ならではの経験をマップに落とし込んでいる作品、過去に被災した状況や危険な状況を踏まえて作成した作品、多くの方にインタビューした結果をデジタルマップの中に入れた作品、地域の特性を詳しく開示する作品、約30年前の阪神淡路大震災の様子を今の子どもたちが改めて学んでいる様子が伝わってくる作品をデジタルマップの特別賞として選びました。どのマップもすばらしいものばかりでした。

第23回以降は、撮影した写真をどのようにまとめ、防災・防犯・交通安全の情報として整理をするのか、デジタルマップならではの良さ、あるいは特徴を表せる作品が出てくると、さらにすばらしい作品になるとと思います。



もんぶかがくだいじんしょう 文部科学大臣賞

宮城県

学年	4年生
人数	13人
分野	防災

いしのまきしりつきたかみしおがっこ 石巻市立北上小学校 いしのまきしりつきたかみしおがっこ 「石巻市立北上小学校4年生」



Voice よろこび喜びの声

じどうみな チームの児童の皆さん

ちいさのみなきょうりょく
このマップは、地域の皆さんの協力があってで
きたもので、チームみんなで作り上げました。北
かみちょうみなじゅしょうよろこ
上町の皆さんと、この受賞を喜びたいです。この
ぼうさいいしのまきしきたかみちょうみらいつな
防災マップが石巻市北上町の未来に繋がりますよ
うに。

しどうまつかわさりな 指導された 松川早李菜さん

きたかみおもづくじゅしょう
北上を想って作ったこのマップが受賞できてうれ
しいです。子どもたちのすばらしさに感動してい
ます。多くの人の目に留まるように、丁寧に字を
書いたり、文章を手書きしたりした子どもたちの
努力が実を結びました。

Comment

審査員からのコメント

地域の方へのインタビューやまち探検を通じて災害への備えや防災設備について学ぶだけではなく、地域に残る津波記念碑や東日本大震災の映像を通じて、災害の記憶を未来へ繋ごうとする強い想いが込められた作品となっている。また、視聴覚障害者から災害体験を聞き、支援を必要とする人のために自分たちに何ができるかを考えようとする姿勢は、「みんなつながる、命とつながる」というテーマを深く体現している。学びを「自分ゴト」として受け止め、地域社会に貢献しようとするその真摯な姿勢は、多くの人の心に響くものがある。皆さんの活動が、これから地域の安心に繋がる大切な一歩になっていくことを期待している。

Point

他の評価ポイント

●津波記念碑が建てられた地区について、現在と震災当時の様子の違いを二次元コードを活用して比較できるような工夫が施されている。

●記念碑が建てられた位置関係を比較した結果、1933年の昭和三陸津波の際には被害がなかった地域でも、2011年の東日本大震災の際は被害を受けた地域があるということから、津波によって被害規模が大きく異なることに気づけている。



まとめ

色々な人から話を聞いて、ぼくたちにできることは何かを考えました。たくさんありますが、あげて地元の人とも交流を深めることです。自分の地区に住む人と日ごろからあいさつしたり仲良くなったりしていれば、災害が起きても声をかけて助け合えると思います。また防災訓練に参加して、**防災意識を高めること**でももし、今日大きな地震が起きたら、みなさんは心の準備ができますか?「できない」と思う人は防災訓練に参加することが大切だと思います。災害時の被害を少なくするために、これからより多くの地域の人と避難場所を確認し合って、**関わりを深めていくこと**が大切だと思います。もし災害が起きたらみんなで助け合って災害を乗り越える為に、北上に住むみなさんで**「助け合いの心」を大切にしています。**



盲ろう者の小山 賢一さん
十三条地区在住

小山さんは、目と耳が不自由です。現在は、盲ろう者を支える通訳介助員のサポートを受けています。東日本大震災の時、自宅でひびきました。ひなん所生活の話などを聞きました。

気付いたこと	感想	働きを必要としている人のために
ぼくは小山さんがひなん生活の時、耳が聴こえないであります。そのため人の話が聞こえないことがよくありました。これからも盲ろう者のことでいつも困りたいと思います。 佐々木悠斗	何年も苦労して東日本大震災を乗りこえてここまで生きて来たことがすごいと思いました。 武山 露空	盲ろうの方に話しかける時は、ひんて静か1000です。手伝ってほしいことはありますか?と聞くと盲ろうの方は、安心できます。 ホルムズ
	盲ろうの人も東日本大震災からはじめ、ひなん生活からトイレに行けるように、トイレの場所を近く	



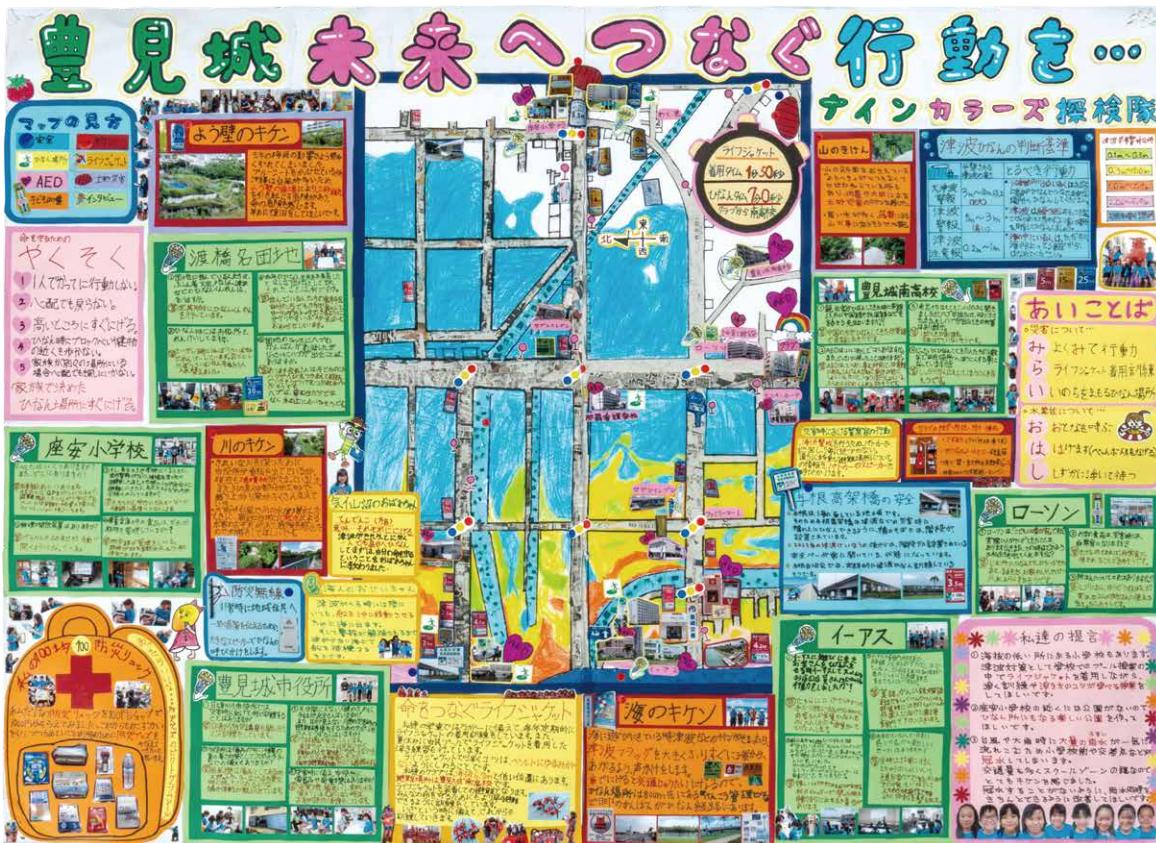


ぼうさいいたんとうだいじんしょう 防災担当大臣賞

おきなわけんとみぐくし
じどう
沖縄県豊見城市なないろ児童クラブ
たんけんたい
「ナインカラーズ探検隊」

沖縄県

学年	3~6年生
人数	9人
分野	防災・防犯・交通安全



よろこびの声

じどうみな チームの児童の皆さん

じゅしょう き たんけん
受賞したと聞いてとてもうれしかったです。探検を しながら地域の特徴や安全・危険を細かく探ししました。自分と大切な人の命を災害から守れるように、見やすいマップと伝わりやすい言葉を意識してたくさんの意見を出し合いながら取り組みました。みんなで考えたアイディアがだんだんと形になり、マップに仕上がりしていくところがとても楽しかったです。このマップが大切な人の命を守ることに繋がってほしいです。

じどう きんじょう ゆうき 指導された 金城 有希さん

ちいき かたがた あたたか さうりょく なか こ おお じょうほう
まな たいけん ほうさい りかい ふか
地域の方々の温かなご協力の中、子どもたちは多くの情報を学び、体験することで防災についての理解を深めていきました。地域探検やインタビューを通じて身近な安全と危険を感じ取り、命を守る行動の仕方と自分たちができるることを常に考えながらマップにまとめる姿に成長を感じました。また「防災の日」に発表会を行い、仲間へ伝えることでクラブ全体の防災意識の向上と学習意欲の高まりにも繋がっています。子どもたちの一生懸命ながんばりが受賞というすばらしい結果に繋がり大変うれしく思います。

Comment 審査員からのコメント

地域に津波浸水の危険性があるという学びを深め、避難した方の経験などを振り返り、現在のまちの状況をさまざまな視点から災害時に役立つことなどを調査している。あらゆる世代に分かりやすく、どう災害に備えたらいいのか悩んでいる人にも伝わりやすく、行動しやすい言葉や情報が詰まっていると感じた。

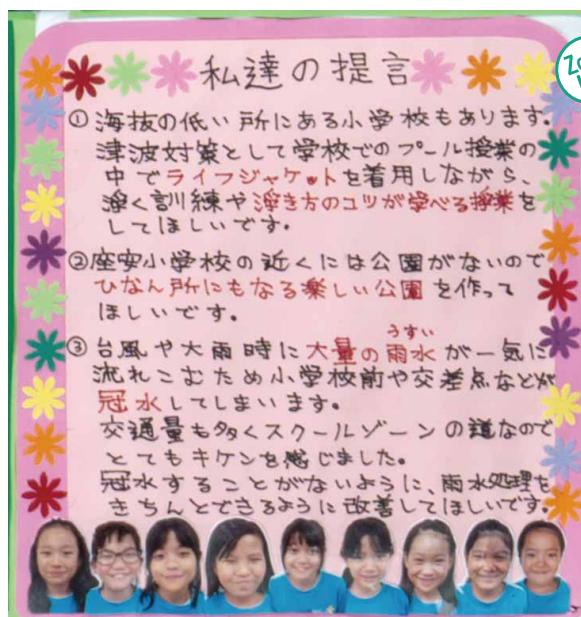
「私達の提言」にあるように、防災におけるさまざまな課題を"自分ゴト"として捉えることができた、しっかりとまとめた作品。色分けの工夫やお店や学校へのインタビューの着眼点もとても興味深い。

今後は、まちの皆さんにたくさん作品を見てもらい、これから未来に繋がる行動と一緒に考える機会を作ってほしい。

Point その他の評価ポイント

子どもたちにも身近な100円ショップで購入可能な商品を用いて実際に防災リュックの中身を調達し、手軽に災害へ備えられることを発信しており、マップを見た方の防災への興味・関心の向上に役立つ工夫がされている。

インタビュー箇所は緑色、危険箇所は赤色のように、マップに記載している内容に合わせて背景の色を区別することで、カラフルでありながらも視覚的に分かりやすくまとめたマップとなっている。





しょうぼうちょううちょうかんしょう 消防庁長官賞

沖縄県

学年	3~5年生
人数	6人
分野	防災・防犯

あわこ いえ 安和子どもの家 「安和 安全安心 探検隊」

みんなで築こう 安全・安心(防犯 防災) マップ

安全安心マップについて

私たち「安和 安心探検隊」は、防犯・防災について考えて、うつされ、やがて日々の生活を豊かにする活動を行なっています。



自分たちで作成図を描いて、選んでください

・ 国内市町村にオーバルマークがあつて、交通事故で亡くなった人の命に哀悼を表すために設けられた記念日です。

・ 交通事故で亡くなってしまった人の命を守るために、多くの人が参集する祭りです。

しどう 指導された 長山 綾乃さん

マップを作成するにあたって、お世話をした地域の方々や各団体の方々に感謝いたします。今後もチャレンジする気持ちをもち続けていってほしいと思います。



よろこびの声

じどうみな チームの児童の皆さん

みんなでがんばって仕上げたマップが選ばれて賞をいただけたのでとてもうれしいです。

Comment 審査員からのコメント

防火水槽・AEDなどの消防・救命救急活動に必要な施設・設備や、過去に水害があつた箇所・傾いたブロック塀・狭い道路などの危険な場所などについて丁寧に調べ、凡例や写真とともに地図に落とし込まれている。

また、消防署などでインタビューをして理解を深めた救急搬送の実例や救急車を呼ぶときのポイントなどを紹介しており、地域の安全・安心に役立つ作品である。

今回のマップづくりを通じて学んだ知識や情報を家族や友人、地域の人に広めていただき、引き続き安全で安心なまちづくりに取り組んでいただきたい。

Point ほか ひょうか その他の評価ポイント

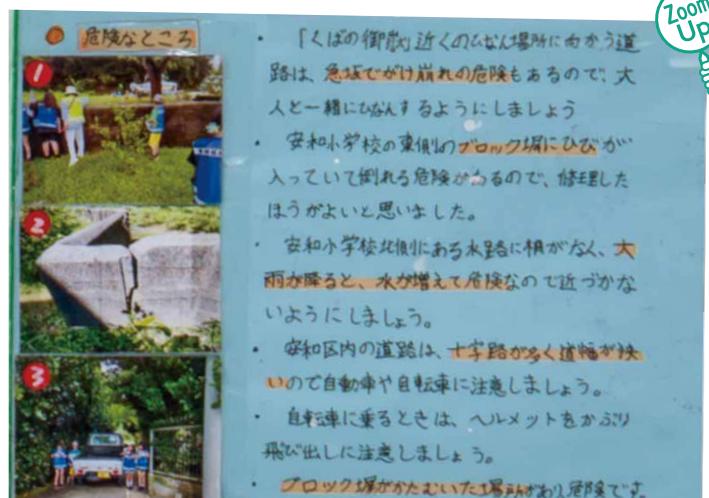
●マップに記載している危険な場所について、危険な理由とあわせてどのように対応するべきかという具体例まで提示されている点から、子どもたちが防災について深く学んだことがうかがえる。

●子どもたちが、まち探検を通じて国道沿いにあるガードパイプが歩行者を守るというだけではなく、"連れ去りの防止"という防犯の観点からも役立っていると気づいており、多角的な視点から捉えられていることがうかがえる。



名瀬消防本部で聞いたこと

- 安和区は、去年461件の救急車の出動がありました。
- 急病で運ばれたのが23件、交通事故6件、仕事中の事故8件、水害事故11件などで、お年寄りが多いとのことでした。
- 救急車を呼ぶときは119番することや、自分の家の住所を覚えておくことも大事です。
- 場所が分からぬ時は、目印になるもの(電柱の番号など)を伝える事も大事だと知りました。また、急病やケガで救急車を呼ぼうが、またはたときは、井(ジャーフ)9117に電話相談しましょう。





まちのぼうさいキッズ賞 (日本ユネスコ国内委員会会長賞)

沖縄県

学年	1、2年生
人数	10人
分野	交通安全

ほうかごじどう ひばり放課後児童クラブ 「ひばりルール守り隊」



よろこ
喜びの声

じどう みな チームの児童の皆さん

ある歩きながら、危ない所、安全な所を自分たちで気づいて写真にしてメッセージをつけたり、学校やお店、道、標識のイラストをかいたり、と大変だったけど、みんなに伝えたいという気持ちで1枚のマップが完成して、賞がとれて本当にうれしいです。

しどう かりまた 指導された 狩俣 さつき さん

ぜんこく 全国でこんなにすばらしい賞を受賞でき驚きとうれしい気持ちでいっぱいです。マップ作成時には私たち大人が気づかされることもたくさんあるので、これからも「ぼうさい探検隊」を続けていたらと思います。受賞させていただきありがとうございます。

Comment 審査員からのコメント

まい もぞうし ひじょうわ
1枚の模造紙にコンパクトに非常に分かり
ちいき あんぜん ぱしょ きけん ぱしょ しめ
やすく地域の安全な場所や危険な場所を示
いろいろ じょうほう つこ こわ
している。色々な情報を詰め込みすぎて分
かりにくくなったり、見にくくなったりす
る例もあるが、このマップからは皆さんが
つか じょうほう つか
伝えたい情報がよく伝わってくる。

また、どんなによくできたマップでも見て
もらわなくては意味がない。このマップには、見てもうための仕掛けがある。つい
ついよく知っているお店などの絵を開けて
みたくなるが、そのときに近くのあの場所
にはこんな危険があるのかと気がつくこと
ができる。

これからもみんなで話し合いながら、大好
きいき あんせん まも
きな地域の安全を守っていってほしい。



Point 他の評価ポイント

● 地域のキャラクターである"まもるくん"を活かした交通安全の小冊子を作成しており、マップを見る方に興味をもつてもらうための工夫がされている。

● 低学年の子どもたちでまち探検をしてマップを作成し、安全箇所や危険箇所、道路標識の意味について学んでいることから、マップ作成を通じて交通安全の意識が芽生えたことがうかがえる。

● マップに中央線を書いたり、目印となる建物を記載したりすることで、子どもたち目線での独自の交通安全にかかるポイントを分かりやすくまとめた地図になっている。





き しょ う ち ょ う ち ょ う か ん し ょ う

気象庁長官賞

とうぶ

こうみんかん

東部こども公民館 かもめクラブ
「かもめクラブ探険隊」

福島県

学年	3年生
人数	34人
分野	防災



大津波に学ぶ体験マップ



よろこ
こえ
喜びの声

じ ど う み な チームの児童の皆さん

さ ゆ り よく つ く し ょ う
みんなが協力して作ったマップが賞をもらえてとてもうれしかったです。見てくれた人のために役に立ててほしいと思います。これからも地域の安全について学んでいきたいです。

し ど う 指導された

あら もとえ
荒 基 恵 さん

た び た い へ ん め よ し ょ う
この度は大変名誉ある賞をいただき心より感謝申し上げます。学びや体験を重ねて作った取組みを評価していただき大きな励みになりました。これからも地域の防災に役立つ活動を続けていきたいと思います。

Comment 審査員からのコメント

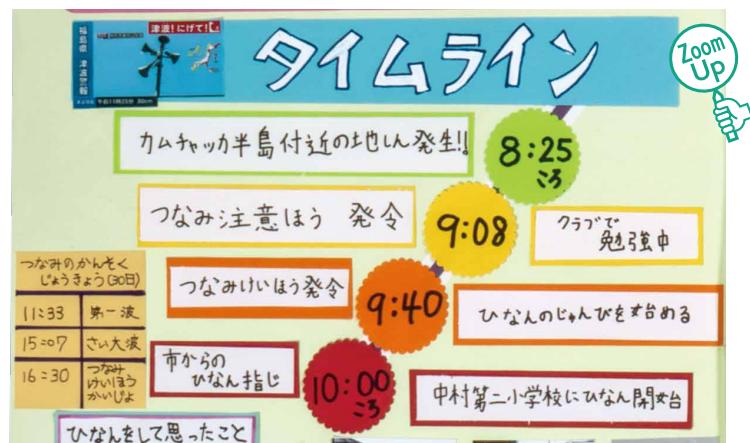
カムチャツカ半島付近で発生した地震に伴う津波という、2025年に発生した自然現象を題材に、実際の避難の様子を示しつつ、もし被害が起きていたらどうだったか、何が必要だったのかなどをシミュレーションしながら、防災グッズの作成、救急法の学習など、災害が発生する前の準備の重要性をマップにまとめている点を高く評価した。実際に避難経路を歩いてみて新たな発見があつたこともよく伝わった。

近年は災害に繋がる自然現象が多くなっている。今回の学びを活かし、気象庁が発表する色々な情報に関心をもち、災害の前にできることを日ごろから考えるようになってもらえればと思う。

Point その他の評価ポイント

子どもたちが、災害発生時における避難の途中でがをしてしまった状況を想定して、救急法について学んでいる。このマップを見た方にも、避難した際に自身でできる、やけどやねんざをした場合の実践的な対処について伝える、教育効果性の高いマップになっている。

Q&Aコーナーを作成することで、子どもが楽しみながら防災について分かりやすく学ぶことができる作品になっている。





キッズリスクアドバイザー賞 (日本損害保険代理業協会賞)

あくねしりつあくねしょうがっこう 阿久根市立阿久根小学校 「安全安心グループ」

鹿児島県

学年	3年生
人数	6人
分野	防犯・交通安全



Voice よろこびの声

じどうみな チームの児童の皆さん

私たちのマップが賞をもらえて本当にうれしいです。たくさん探検して、危険な場所を見つけてマップにしました。このマップが阿久根に住む皆さんの役に立つとうれしいです。これからも地域の安全について考えたいです。

じどうともゆうこ 指導された 塙祐子さん

こうつうあんぜん あんぜん せいかつ ぼうさい つく
交通安全・安全な生活をテーマに防災マップを作
りました。子どもたちが自ら地域の安全について
考え、懸命に調査・作成に取り組みました。この
経験が、防災意識を高めるきっかけになることを
期待しています。

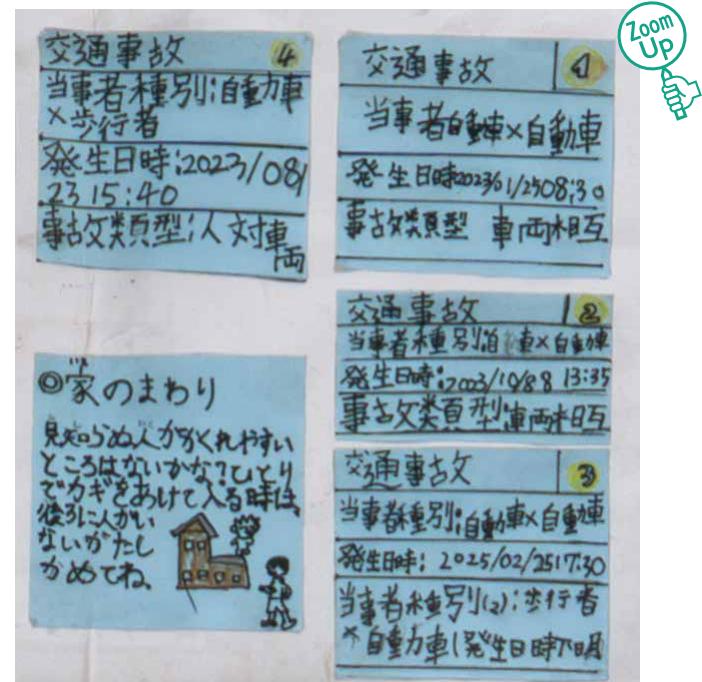
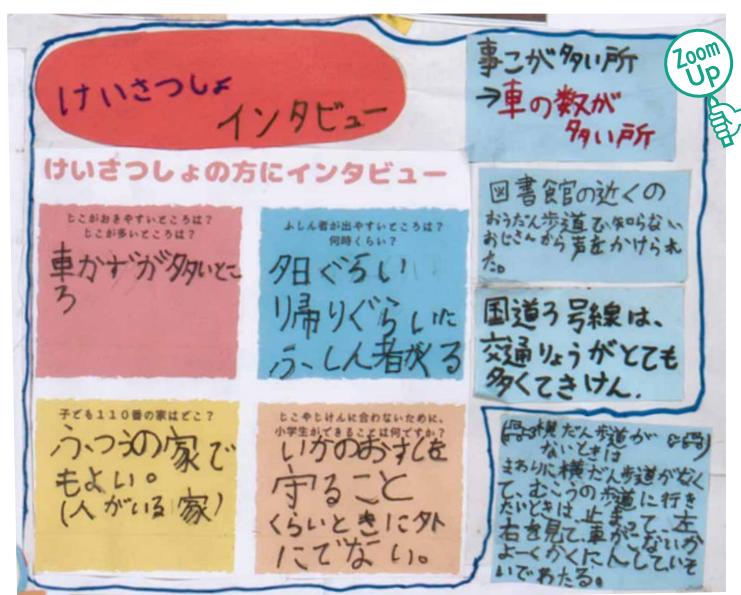
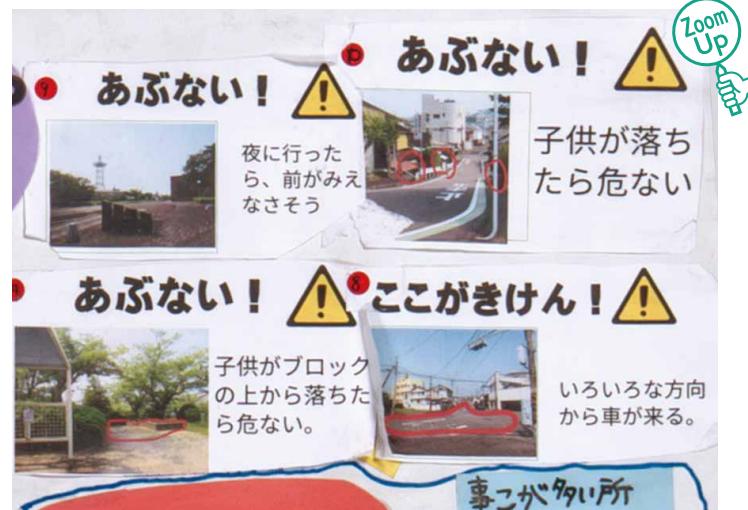
Comment 審査員からのコメント

つうがくろ かわしうへん き けん か しょ ぐ たいてき しめ
通学路や川周辺の危険箇所を具体的に示し、
「あぶない！」などの統一された警告表示で
小学生低学年でも視覚的に分かりやすく整
理されている作品。また、警察署や消防署
へのインタビューから得た情報を的確に反
映し、実際のリスクと対策を明確に伝えて
いる点も優れており、水の事故防止や「い
かのおすし」など、安全行動の提示が子ども
たちの実践に繋がる構成になっていると感
じた。今後は、マップ作成により認知した
危険箇所の情報を地域の皆さんと共有し地
域の安全に貢献してほしい。

Point その他の評価ポイント

●まちの危ない場所を記載するだけでなく、「車には死角がある」といった、歩行者がなぜ危険なのかという理由や事故を起きたために気をつけなければいけない点についても丁寧かつ具体的にまとめられていることで、低学年の子どもも理解できる内容になっている。

●子どもたちが住むまちで実際にどのような交通事故が起きているのか、場所と事故内容について学ぶことで、より深くまちを理解することができている。



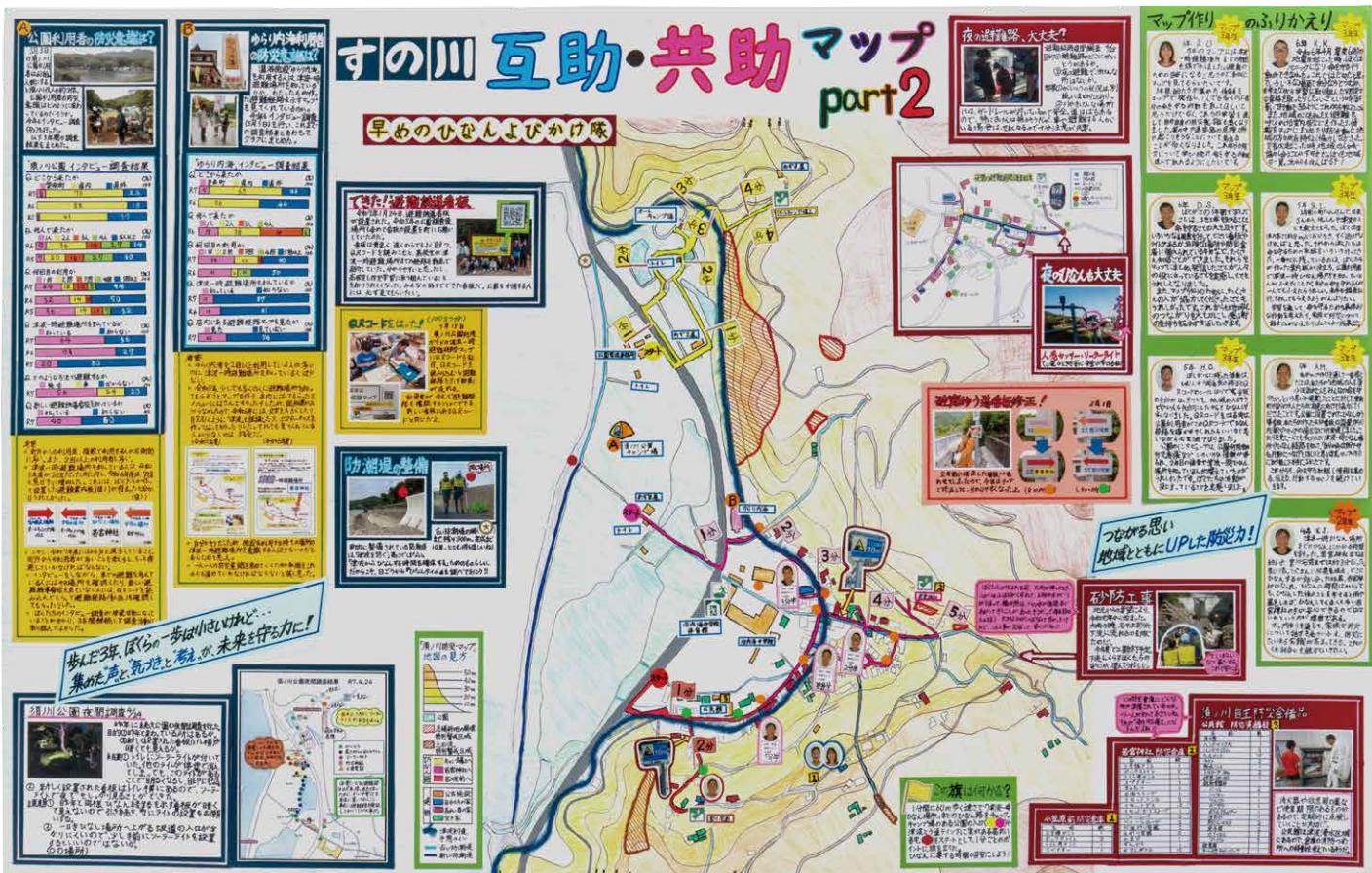


未来へのまちづくり賞 (朝日新聞社賞)

愛媛県

学年	4~6年生
人数	7人
分野	防災

あいなんちょうりつかわししょうがっこう 愛南町立柏小学校 はや 「早めのひなんよびかけ隊」



よろこ
喜びの声

じどうみな チームの児童の皆さん

「未来へのまちづくり賞」をいただきとてもうれしかったです。3年間防災学習に取り組んできてよかったです。得られた想いや学びを地域へ広げ、よりよい愛南町となるようこれからも実践を続けていきたいです。

じどう 指導された 薬師神 勇介さん

ちいき かんけい き かん みな ささ じどう おも
地域や関係機関の皆さんに支えられ、児童の想い
かつどう むす つ
を活動に結び付けることができました。これまで
まな かぞく ち いき ひろ じどう せいちょう
の学びを家族や地域へ広げようとする児童に成長
よろこ かん ぼうさい つよ
したことに喜びを感じるとともに、防災に強いま
ねが さくせい じゅしょう
ちにしたいという願いから作成したマップが受賞
たいへん おも
したことを大変うれしく思います。

Comment 審査員からのコメント

「継続性」、「地域との情報共有」、「地域外から訪れた人への視点」の3点から、「未来へのまちづくり賞」に選んだ。公園や温浴施設の利用者に、3年間にわたって、聞き取り調査を実施。自分たちの取組みの成果を振り返りながら、課題を見つけ出し、マップづくりを進めている。避難路を夜間に調べ、1年前の調査結果と比較しながら、安全面と危険箇所をまとめた。児童手づくりの「防災だより」を作成し、ホームページに公開するなど、地域への情報発信を積極的に行っている。また、地域の特性から観光客も多く、地域外の人たちの安全についても目配りしている。引き続き、地域とともに、防災意識を高める活動を未来へ繋いでほしい。

Point その他の評価ポイント

●「須ノ川公園利用ガイド」に二次元コードを貼ることで、ガイドの限られたスペースを有効に活用している点が評価できる。また、マップの中に小さい画用紙を貼り付け、題材ごとに色を変えてそれぞれに題名をつけてまとめることで、たくさんの情報がありながらも視覚的に分かりやすいマップになっている。

●実際に公園などの利用者にインタビューを行い、防災にかかる情報について発信することで、避難場所や避難方法について、県外の方の防災意識を高めることにも寄与していることがうかがえる。





わがまち再発見賞 (日本災害救援ボランティアネットワーク賞)

Kids Creation Afterschool 「KCAぼうさい探検隊」たんけんたい

茨城県

学年	1~6年生
人数	53人
分野	防災



Voice よろこ
こえ
喜びの声

じどう チームの児童の みな 皆さん

もうしょ えいきょう そとあそ かつどう せいげん
猛暑の影響で外遊びや活動を制限すこ
するだけでなく、どうしたら少し
かいてき あんせん く
でも快適に安全に暮らせるのかを
かんが こ してん こんご
考えました。子どもの視点で今後
もつくば市に提言し、より安心し
て暮らせるまちづくりを目指して
めざ
おも
いきたいと思います。

し どう
指導された
みやじま はると
宮嶋 遥音 さん、
ゆかり
マクマーン 由香利 さん

こんかい ねっちゅうじょう
今回の熱中症マップづくりでは、
まいとし ぼうさいがくしゅう つちか してん い
毎年の防災学習で培った視点を活
こ み ちか き けん
かし、子どもたちが身近な危険を
じ ぶん かんが かつ
"自分ゴト"として考えました。活
どう ひょう か たいへんこうえい
動を評価していただき、大変光栄
おも
に思います。

Comment しんさいん 審査員からのコメント

さっこん しゃかいもんだい もうしょ しせんさい
昨今、社会問題となっている「猛暑」を自然災害として捉え、いざというときに利用するクーリングシェルターの課題や暑さ指数などについて調査し、分かりやすくマップにまとめた点は大いに評価できる。また、自治体に対し、冷房の効いた体育館の活用や、日ごろ使っている黄色い傘を晴雨兼用の"持ち歩ける日かげ"として活用することで暑さから命を守るといった提言も盛り込まれており、子どもたち自身が熱中症対策に主体的に取り組む姿勢がうかがえる。さらに、1年生から6年生まで学年の垣根を越えて協働した点も非常にすばらしい。異常気象により猛暑が常態化しつつある現在、今回学んだ内容をより多くの友だちや地域の方々へ広めていくことを期待したい。

Point ほかひょうか その他の評価ポイント

ほごしゃたい ねっちゅうしょ
●保護者に対して熱中症にかかるアンケートを実施し、その回答内容を分析することで、熱中症への理解を深められた様子がうかがえる。また、アスファルト・土、日陰・日なたの温度差などの数値と合わせて具体的な対策方法とその必要性も示すことで、地域での熱中症対策に繋がるマップとなっている。

しふよほんかん ちいき なつ すず あそ
●クーリングシェルターだけでなく、池や地質標本館など、地域にある「夏でも涼しく遊べる場所」や「クーラーがあれば遊べる場所」に着目してマップにまとめており、熱中症対策について、子どもたちならではの目線で「涼しい場所」を提言している。

WBGTってなんだろう?

WBGTとは~~湿度+振動~~のこと!
「気温・湿度・太陽の熱」の3つを合わせて、どれくらい暑くて/体にどうひく負担があるかを数字で表したのがWBGT指数です。

WBGT指数 = 気温 + 湿度 + 太陽の熱

WBGTの値	状況	気きつけること
21未満	ほぼ安全	ふつうに遊んでOK
21~24	注意	こまめに水分をとろう
25~27	警戒	長時間運動は休みながら
28~30	厳重注意	外での運動はやめよう
31以上	危険	外に出ないほうがいい

私たちから つくば市へ提言

私たちは「地震や水害」だけではなく、最近のもう暑も「自然災害」と言えると感じています。子どもが安心して歩けて、休めるまちにするために、つくば市に3つのお願いをしました。

①通学路と公園に「日かけの休けいポイント」を
日ざしの強い通学路や公園に、木を植えて木かけをふやしてください。木かけは、暑い日に体をゆる小さな「避難場所」になります。

②たどりでも入れる「裏の居場所」を
新しい施設をたくさん作るのは大変かしいと思うので、市の体育館や小・中学校の体育館に更衣室を入れて、夏休みの間だけでも利用できる「涼しいひろば」として開放してほしいです。子どもが遊んでいる間に、保護者が本を読んだりくつろいだりできるような場所があると、さらに良いと思います。

日立市の「トレニ」のように、天気に左右されず、安全に遊べる屋内あそび場がつくば市にもできたらとても嬉しいです。


③黄色い傘を「日かけの道具」に
小学生の黄色い傘を、晴雨兼用の日傘にしてほしいです。子どもが自分で「持ち歩ける日かけ」を持てるようになります。
「暑くてがんばるより、安心して避難できるまちをいっしにつくりたいです。これは子どもだけでなく、高齢の方や外で働く人にとっても大切なことです」と思います。





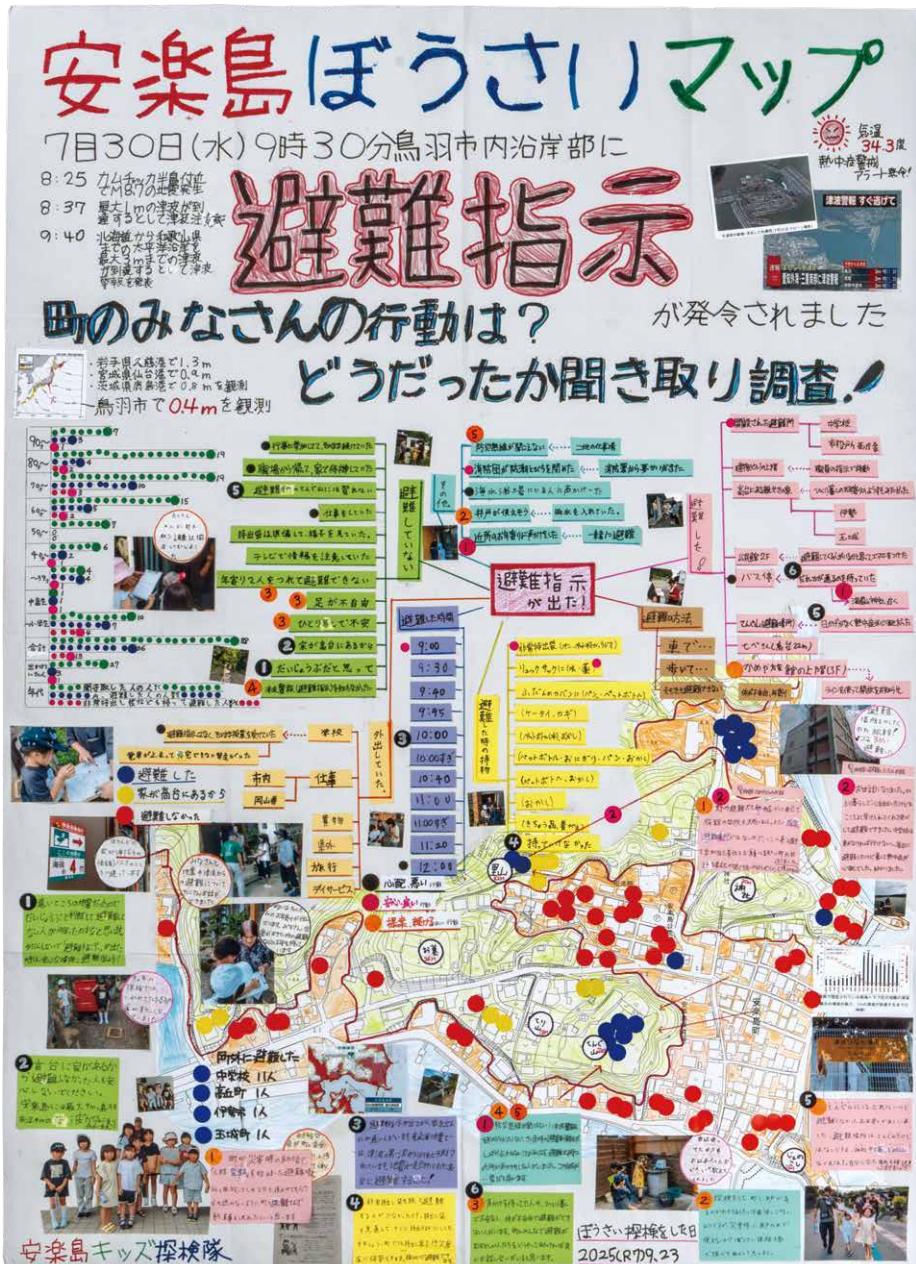
ぼうさい探検隊賞 (日本損害保険協会賞)

三重県

学年	1~3、5、6年生、 年中、年長
人数	11人
分野	防災

あらしま たんけんたい 安楽島キッズ探検隊

あらしま たんけんたい 「安楽島キッズ探検隊」





Voice よろこ
こえ
喜びの声

じどう チームの児童の みな 皆さん

ある しら
まちをいっぱい歩いて調べたマツ
にゅうせん プが入選してうれしいです。テレ
ひなん い ひ
ビとかで避難と言っているのに避
なん ひと おお
難しない人が多くてびっくりした
かな だいす
し、悲しかったです。大好きなま
ひと ぼうさい
ちの人たちが、もっと防災のこと
かんが を考えてくれるよう、これからも
たんけんたい つづ
ぼうさい探検隊を続けていきます。

し どう
指 導 さ れ た
は ま ぐ ち け い じ
滝 口 敬 司 さん

さくねん つづ ゆうせん たいへん おも
昨年に続き入選し大変うれしく思
います。平成17年に始めて21年、
まいとし 毎年メンバーは変わりますが年々
こ 子どもたちの防災力がパワーアップ
こうしているのを感じています。今
ご 後も地域の方々の協力を得ながら
ぼうさい探検隊を続けていきます。

Comment 審査員からのコメント

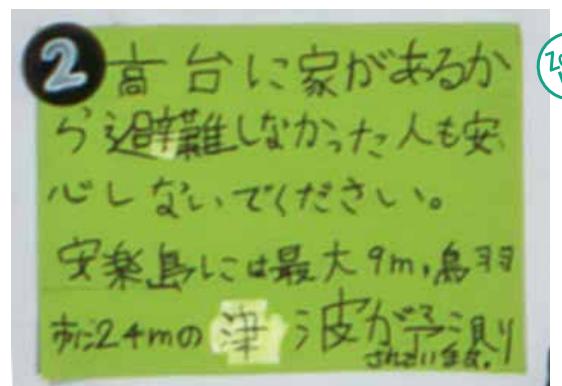
2025年の夏に発生したカムチャツカ地震による津波の避難指示に対し、まちの皆さんがどう行動したのかを聞き取り調査で明らかにした意欲的な作品。

まずは、実際に経験した災害をもとに、対応に問題がなかったかどうかを調べてみようという視点がすばらしい。そして、「お年寄りなど避難が難しい人がいる」、「防災無線が聞こえず、津波警報を知らなかつた人も多い」などいくつもの課題を発見し提言に繋げている。加えて、参加した児童の皆さんが、災害のときに役に立ちたいとの想いを強くしたことも伝わってくる。
既に始めていらっしゃるようであるが、今回の気づきを、まちや関係する団体、地域の皆さんに伝えることで、地域防災の改善に役立てていただきたい。

Point その他の評価ポイント

今後発生する可能性のある津波の最大の高さや、第一波の到達時間を具体的な数値とともに示すことで、津波の危険性と津波避難を"自分ゴト"として捉えなければならぬことを地域住民に訴えかけるマップになっている。

聞き取り調査の結果や土地の標高などを色分けして、より具体的に地域の様子が分かるようにしたり、津波警報の発令から時系列で住民の避難行動を示したりすることで、視覚的に情報が伝わりやすくなる工夫がされている。





ふくしまけんそうましかわらまちじどう
福島県相馬市川原町児童センター みつばち防災探検隊

ぼうさいたんけんたい
たんけんたい

「みつばちすみればうさい探検隊」

福島県

学年	3年生
人数	20人
分野	防災



Point 評価されたポイント

● 過去の水害から分かる地域における危険性を踏まえ、今後発生する可能性のある災害への備えには何が必要か、自分たちには何ができるか、という観点でまち探検を行っている。また、駅周辺の地形や過去の浸水状況を透明のシートで表現したり、浸水した地域の改修状況を過去と現在の写真を比較して掲示したりすることで、視覚的に分かりやすく示せている。

● 過去の水害で駅周辺が大きな浸水被害を受けたことを知り、オリジナルの「お助けカード」を作成して、駅周辺ビルの関係者に配布しながら水害発生時の垂直避難先となるよう依頼しに行っていることから、提案性や積極性の高さがうかがえる。

Voice 喜びの声

チームの児童の皆さん

一生懸命作ったマップが賞に選ばれてうれしいです。水害のとき命を守るためにできることを学び、マップに載せました。このマップをたくさんの人たちに見てもらえたうれしいです。

指導された 藤巻 真理さん

マップ作成を続けて21年間たくさんの方々の協力でここまで続けてこられました。マップづくりを通じて子どもたちは多くのことを学び体験し命を守る行動や方法を学習しました。子どもたちのがんばりが受賞に繋がり大変うれしく思います。



西部子ども公民館放課後児童クラブ こすもすクラブ
「こすもす防災探検隊」

福島県

学年	4年生
人数	10人
分野	防災



指導された 和田 しおりさん

今回のマップづくりを通じて地域の繋がりの大切さ、また人を思いやる優しい気持ちが芽生えました。今後も伝統ある防災マップづくりを下の学年の子に受け継いでほしいと思います。ありがとうございました。

Point 評価されたポイント

● 地域の絆に着目し、より強固なものにするために子どもたち自身でできることを考え、実際に民生委員・駐在所・公民館などの関係者に対してマップが掲載されたチラシを配布していることから、地域全体の防災の観点において、高い教育効果性がうかがえる。

● 高齢者が多く住んでいるという地域特性を踏まえ、子ども会や公民館が中心となって災害時に助け合う様子や、地域間の活動・連携の重要性もマップに表現することで、地域の理想の姿を描くことができている。また、高齢者の疑似体験として、耳栓や2Lのペットボトルを身体に装着して実際にまちを歩くことで、高齢者に対する理解や思いやりが深くなった様子がうかがえる。

Voice 喜びの声

チームの児童の皆さん

入賞することができてとてもうれしいです。これからも地域の方との関わりを大切にし、災害が起きたらぼくたちが助けてあげたいです。

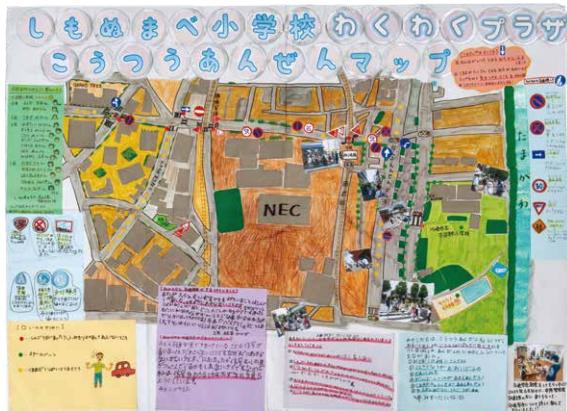


しんさいんとくべつしょう
審査員特別賞

こうえきざいだんほうじん
公益財団法人かわさき市民活動センター 下沼部小学校わくわくプラザ
しもぬまべ しょうがっこう
「下沼部小わくはじめての
たんけんたい
ぼうさい探検隊にチャレンジ！チーム」

神奈川県

学年	1~4年生
人数	15人
分野	交通安全



ひょうか 評価されたポイント

- こうつうりょう おお し が い ち ち い き とく ち う ふ け い さ つ しょ れ い けい
交通量の多い市街地であるという地域の特徴を踏まえ、警察署と連携して
マップ作成に取り組んだことは、地域の交通安全・防犯の対応力を高める
ことに貢献したものと評価できる。また、側溝のふたが開いていることや、
電柱があり、歩道が狭いことから、危険を感じる点について、大人よりも
自線の低い子どもならではの視点で気づけている様子がうかがえる。
- て い ち ょう がくねん み ぢ か こう つう あんせん たんけん
低・中学年にとって身近な「交通安全」というテーマでまち探検をしたこと
で、人口が密集しているという地域課題を子どもたちが認識したことがう
かがえる。また、作成したマップを高齢者向けの施設へ披露しに行くこと
で、地域間交流の活性化に貢献している様子もうかがえる。

Voice よろこびの声

じどう みな
チームの児童の皆さん

はじめ おうほ しょう
初めての応募で賞をもらえてとてもうれしいです。地域の人と話せて、
いろいろ し ち い き ひと は な
色々なことを知ることができました。マップも上手に作ることができます
てうれしかったです。このマップを地域の人にも広めていきたいです。

し ど う よし の は な よ
指導された 吉野 華代さん

しもぬまべ しょうがっこう
下沼部小学校わくわくプラザでは全く初めての応募と
なります。お子さんたちの意気込みに応じて力を合わ
せて作成したマップを評価していただき、大変うれし
く思います。今後もお子さんたちの自主性を伸ばして
地域に貢献していきたいです。



しんさいんとくべつしょう
審査員特別賞

かほく市子ども会 宇ノ気支部 内日角子ども会
「ちびっこ探検隊in内日角」

石川県

学年	6年生
人数	17人
分野	防災



ひょうか 評価されたポイント

- ぼうさいたんけんかい さんか ぼうさいし ち い き し せ つ せ つ
防災体験会への参加、防災士へのインタビューや地域の施設・設
備における調べ学習などを通じて、「自分たちができること」として
災害への4つの備えをマップにまとめ、災害対策を提案している
ことから、まち探検での学びを共有し、活かそうとする姿勢がう
かがえる。また、参加した子どもたちの人数が多いにも関わらず、
1つの作品として、まとまりのある整理がされており、見やす
さの観点での工夫が感じられる。
- か こ てい ち お あ め か ん す い ひ が い は っ せ い ま な
過去に低地で大雨による冠水被害が発生したことを学んだうえで、
実際に子どもたちの足で地域を歩くことにより、想像以上に危険
な場所があるという新しい気づきを得られたことがうかがえる。

Voice よろこびの声

じどう みな
チームの児童の皆さん

い う し ゆう
入賞できてうれしいです。地区内を調査し、気づいてい
か け ん ば し ょ おお
ない危険場所が多くあることが分かり、安全に避難する
ためのシミュレーションができるよかったです。私たち
ができることを意識し続けていきたいです。

し ど う つ ば き は ら ゆ か り ひ が し さ ち よ
指導された 植原 由佳里さん、東 幸代さん

しょ こ あ せ
すばらしい賞をいただきありがとうございます。子どもたちが汗を
かきながら地区を回り、みんなで意見を出し合って作成しました。
さ く せ い さ く せ い さ く せ い
このぼうさいマップ作成を通じて「小学生ができること」を考える貴重
な機会になりました。



かほく市子ども会 宇ノ気支部 狩鹿野子ども会
まも たい
「KARUGANO守り隊」

石川県

学年	6年生
人数	4人
分野	防犯



Point 評価されたポイント

- 同地点における昼夜の写真を比較した結果、「夜間は街灯がなく暗い」という地域の課題を捉え、区長や防犯委員へ街灯の設置を要望・提言していることから、地域の改善に繋がる作品となっている。また、地域住民にも周知できるよう、回覧板での情報共有を提案するなど、周囲を巻き込んだ防犯対策を実施していることがうかがえる。
- まち探検の結果、家の近隣が想像より暗いことや、見通しの悪い場所などがあることに気づき、具体的な対応策まで考えられていることから、安全に対する意識が向上したことがうかがえる。

Voice 喜びの声

じどう みな
チームの児童の皆さん

通学路や遊ぶ場所を歩いて、暗くて怖い所や見通しの悪い所を見つけました。昼と夜の写真を比べたり、地域の方に聞いたりして、安全にする工夫を考えました。これからもまちを見守りたいです。

指導された 萬由佳さん

子どもたちが自分の足で地域を歩き、危険な場所や防犯灯の位置を地图にまとめていく姿が印象的でした。昼と夜の見え方の違いも調べ、地域の方と情報を共有できました。今回の経験を今後の防犯活動に繋げたいです。



しのはらだい
篠原第1・第2こどもの家

「しのはらのみんなの安全をまもり隊」

滋賀県

学年	5年生
人数	6人
分野	防犯



Point 評価されたポイント

- 防犯ブザーの効果を実際に検証し、交通量の多い時間帯や新幹線通過時では音の聞こえ方に違いがあることなどをまとめることで、万が一の際に役立つ手段を明示している。また、篠原小学校全学年への防犯意識アンケートの結果を踏まえ、防犯に関する話題を家族と話し合う機会を得たり、年1回の防犯訓練の必要性を理解することで、防犯意識を高めたことがうかがえる。
- 不審者に遭遇した際の行動要領やSOSの出し方について、イラストとあわせて記載することで、具体的にどの場面でどう行動すればよいかが分かる実用的なマップとなっている。

Voice 喜びの声

じどう みな
チームの児童の皆さん

自分たちで調査やインタビューをしたことでも色々なことを学べました。作成したマップを学校や地域に掲示することで防犯について知ってもらい、小さなことで身を守る意識と術を伝えていけたらと思います。

じどう とみた みさお
指導された 富田操緒さん

子どもたちの「やりたい」想いと、彼らの過ごす地域と日常と共に知りたいとの想いから、時間をかけて全学年に伝わる内容にすることを目標に作成しました。そんな子どもたちのがんばりが賞に繋がり大変うれしく思います。



しんさいんとくべつしょう
審査員特別賞

たかまつしりつしおのえしょうがっこう
高松市立塩江小学校
しおのえぼうさいたんけんたい
「塩江防災探検隊」

香川県

学年	6年生
人数	7人
分野	防災・交通安全



ひょうか
評価されたポイント

- 地域住民へのアンケート結果から、地域に共通する災害発生時における道路の危険性や災害履歴などを把握し、地域への理解を深めている様子がうかがえる。また、山に面した道路・避難経路における土砂災害や、幅の狭い道路での交通事故などの危険性について、まち探検を通じて発見・分析し、自動車や自転車の運転手に安全運転を訴えかけるマップとなっている。
- 地域の危険箇所を確認するにあたり、警察や消防の関係者からの協力を得つつ、地域住民からアンケートへの好意的な協力が得られたことから、子どもたちの地域への愛着が深まり、さらに、地域安全マップづくりへの意欲が向上したことが感じられる。



よろこびの声

じどうみな
チームの児童の皆さん

地域の方々が安全に暮らせるようにという想いを込めて作ったので、受賞してとてもうれしいです。調査していく中で、塩江町の住民の方々にたくさんご協力いただき、地域の方の優しさを改めて感じることができました。

しのう
指導された 小笠 香奈さん

子どもたちが塩江町のためにという想いをもって作ったマップが評価され、うれしく思います。ご協力いただいた地域の方に感謝の気持ちでいっぱいです。これからも地域の一員として、防災意識を高めていってほしいです。



しんさいんとくべつしょう
審査員特別賞

キッズステーションNARUTO
「あんぜんキッズたい」

徳島県

学年	1、2年生
人数	20人
分野	防災・防犯・交通安全



ひょうか
評価されたポイント

- 2024年にマップづくりに参加した2年生が、1年生の安全を確保する観点で通学路の危険性に焦点を当て、1年生が理解できるように考えながら作成しており、高い教育効果性が感じられる。また、マップの上にビニールを重ねて、地震や水害などを表現するという工夫を施すことで、視覚的に危険箇所が分かりやすいマップとなっている。
- 昔の塩田を埋め立てた地域の特徴を調べ、地震発生時の液状化現象について学んだり、満潮時に大雨が降った際の水路の氾濫の危険性を知ったりすることで、地域の課題に対する理解を深めていることがうかがえる。



よろこびの声

じどうみな
チームの児童の皆さん

審査員特別賞をもらえるなんて、信じられません。キッズステーションに帰ってくるまでの道は、危ないことがいっぱいなので、マップに表現できて良かったです。



しのう
指導された 西上 知子さん

しんさいんとくべつしょう
審査員特別賞、ありがとうございます。4月の新学年に、自主的に2年生が、1年生を導いている下校風景からマップ作成が始まりました。安全の意識が受け継がれていることに感動しました。



とくべつしょう デジタルマップ特別賞

「デジタルマップ特別賞」とは…

日本損害保険協会が無償で貸し出している「まち探検アプリ」搭載のタブレット端末を、児童が使って探検・マップづくりした作品のなかから、審査によって選出した賞です。

「まち探検アプリ」とは…

ふだん歩く通学路や避難場所への経路など、道路上の危険な所・安全な所を調べ、タブレットに写真やアイコンをワンタッチで登録できるほか、タブレットには「事前学習の手引き」が搭載されており、簡単に学習ができるようになっています。



マップ作成手順

事前学習

かつどう 活動エリアの 登録や、事前 学習をしよう

フィールドワーク

たんけん まち探検を行い、 写真撮影などで、 ポイント登録を しよう

マップ編集

とうろく 登録したポイント の確認・編集を行い、マップを 完成させよう

発表会

はっぴょうかい 発表会モードを使 い、発表会を行おう

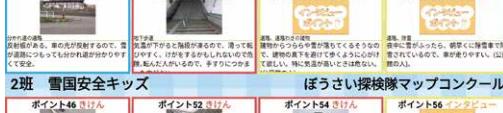
かんせい 完成!!



とくべつしょう
豊浦町立豊浦小学校
はんゆきぐにあんぜん

「2班 雪国安全キッズ」

北海道
学年 4年生
人数 3人
分野 交通安全



Point 評価されたポイント

ゆきぐに ちいきとくせい しんし むあ ながす ひと ゆきみち きけんせい
雪国という地域特性に真摯に向き合い、長く住んでいる人から雪道の危険性
かこじこ はっせい はなし き ひと ゆきぐにとくゆう かだい もんだいん
や過去に事故が発生した話などを聞くことで、雪国特有の課題や問題点につ
かが きけん かしょ すな どざい
いて考えられている。また、危険箇所だけではなく、砂のすべり止め剤など、
きけん かひ あんぜん み 危険を回避するための安全ポイントも見つけられている。

こ つうがくろ かこじこ はっせい ばしょ どうろわき じよ
子どもたちの通学路だけではなく、過去に事故が発生した場所や道路脇の除
せつ ひろ じどうしゃ してん あんぜんせい かんが
雪スペースの広さなど、自動車のドライバーの視点でも安全性について考
ちいき こうつうあんせんらうさんか しんねんせい たいけんじょうがく かつよう
え、地域の交通安全運動へ参加したり、新1年生の体験入学に活用したりす
せだいかん こうりゅう いちじょ わ ることで、世代間の交流の一助となっていることが分かる。

Voice 喜びの声

じどうみな チームの児童の皆さん

かずおお えら しん さきも
数多くのマップから選ばれ、信じられない気持ちと、うれしい気持ちでいっぱい
あんぜん ばしょ さけん ばしょ くわ
です。安全な場所や危険な場所をたくさん見つけて、詳しくマップにしました。
ちいさ ささ おも おも
このマップが、みんなの役に立てばいいなと思います。

指導された 長田 真希子さん

ねんれんごく とくべつしょう じゅしょう たいへん おも とようらちょうやくは しょくいん かたがた こうつう しどういん えき
2年連続でデジタルマップ特別賞を受賞することができ、大変うれしく思います。豊浦町役場の職員の方々をはじめ、交通指導員、駅
ばいてんいん さういくい いんかい みな さうよく ちいさ ささ おも おも とようらちょうやくは しょくいん かたがた こうつう しどういん えき
売店員、教育委員会の皆さんのご協力のおかげで、地域に支えられながらマップを完成させることができました。



おおさきしりつさんばんざしょうがっこう
大崎市立三本木小学校
たんけんたい
「やまなみ探検隊」

宮城県
学年 5年生
人数 9人
分野 防災

やまなみ探検隊
ぼうさい探検隊マップコンクール

ポイント1	ポイント2	ポイント3	ポイント4
ポイント5	ポイント6	ポイント7	ポイント8
ポイント9	ポイント10	ポイント11	ポイント12
やまなみ探検隊 ぼうさい探検隊マップコンクール	ポイント13	ポイント14	ポイント15
ポイント16	ポイント17	ポイント18	ポイント19
ポイント20	ポイント21	ポイント22	ポイント23
やまなみ探検隊 ぼうさい探検隊マップコンクール	ポイント24	ポイント25	ポイント26
ポイント27	ポイント28	ポイント29	ポイント30
やまなみ探検隊 ぼうさい探検隊マップコンクール	ポイント31	ポイント32	ポイント33
ポイント34	ポイント35	ポイント36	ポイント37

指導された 鶴谷亮さん

かこ たいふう おおあめ ひがい う
ちいき じぶん めあし がくじゅう
まち中を実際に歩いて防災施設や設備を調べるのはとても大変でしたが、マップが完成し努力が形になったときには、とてもうれしかったです。ぼうさい探検を通じて、多くの設備や多くの人に守られていることに気づきました。



しばうらぼうさいたんけんチーム
「しばうらぼうさいたんけんチーム」

東京都
学年 2年生
人数 4人
分野 防災

しばうらぼうさいたんけんチーム
ぼうさい探検隊マップコンクール

ポイント1	ポイント2	ポイント3	ポイント4
ポイント5	ポイント6	ポイント7	ポイント8
ポイント9	ポイント10	ポイント11	ポイント12
ポイント13	ポイント14	ポイント15	ポイント16
ポイント17	ポイント18	ポイント19	ポイント20
ポイント21	ポイント22	ポイント23	ポイント24
ポイント25	ポイント26	ポイント27	ポイント28
ポイント29	ポイント30	ポイント31	ポイント32
ポイント33	ポイント34	ポイント35	ポイント36
ポイント37	ポイント38	ポイント39	ポイント40
ポイント41	ポイント42	ポイント43	ポイント44
ポイント45	ポイント46	ポイント47	ポイント48
ポイント49	ポイント50	ポイント51	ポイント52
しばうらぼうさいたんけんチーム ぼうさい探検隊マップコンクール	ポイント53	ポイント54	ポイント55

しばうらぼうさいたんけんチーム
ぼうさい探検隊マップコンクール

ポイント1	ポイント2	ポイント3	ポイント4
ポイント5	ポイント6	ポイント7	ポイント8
ポイント9	ポイント10	ポイント11	ポイント12
ポイント13	ポイント14	ポイント15	ポイント16
ポイント17	ポイント18	ポイント19	ポイント20
ポイント21	ポイント22	ポイント23	ポイント24
ポイント25	ポイント26	ポイント27	ポイント28
ポイント29	ポイント30	ポイント31	ポイント32
ポイント33	ポイント34	ポイント35	ポイント36
ポイント37	ポイント38	ポイント39	ポイント40
ポイント41	ポイント42	ポイント43	ポイント44
ポイント45	ポイント46	ポイント47	ポイント48
ポイント49	ポイント50	ポイント51	ポイント52
ポイント53	ポイント54	ポイント55	ポイント56

Point 評価されたポイント

- 「下式消火栓は泥がたまると使えないで点検が必要」といった、災害発生時に地域を守る設備が機能するために必要なことを考えて、まち探検をしたことがうかがえる。
- 土砂災害警戒区域や浸水ハザードマップなどの防災に関する情報を収集し、きちんと理解していることがうかがえる。加えて、インタビューや過去の資料から学習して、「指定緊急避難場所になっている場所もかつて浸水したことがある」など、測定器具を使った調査によって台風や浸水などの災害履歴を知ることで、地域の災害特性を踏まえた実践的な防災意識の向上に繋がった様子がうかがえる。

Voice 喜びの声

じどう みな
チームの児童の皆さん

なか じっさい ある ぼうさい し せつ せつ び しら
まち中を実際に歩いて防災施設や設備を調べるのはとても大変でしたが、マップが完成し努力が形になったときには、とてもうれしかったです。ぼうさい探検を通じて、多くの設備や多くの人に守られていることに気づきました。

指導された 鶴谷亮さん

かこ たいふう おおあめ ひがい う
ちいき じぶん めあし がくじゅう
まち探検を通じて、今後も防災意識をもちながら楽しい学校生活を送ってほしいです。



しばうらぼうさいたんけんチーム
「しばうらぼうさいたんけんチーム」

東京都
学年 2年生
人数 4人
分野 防災

しばうらぼうさいたんけんチーム
ぼうさい探検隊マップコンクール

ポイント1	ポイント2	ポイント3	ポイント4
ポイント5	ポイント6	ポイント7	ポイント8
ポイント9	ポイント10	ポイント11	ポイント12
ポイント13	ポイント14	ポイント15	ポイント16
ポイント17	ポイント18	ポイント19	ポイント20
ポイント21	ポイント22	ポイント23	ポイント24
ポイント25	ポイント26	ポイント27	ポイント28
ポイント29	ポイント30	ポイント31	ポイント32
ポイント33	ポイント34	ポイント35	ポイント36
ポイント37	ポイント38	ポイント39	ポイント40
ポイント41	ポイント42	ポイント43	ポイント44
ポイント45	ポイント46	ポイント47	ポイント48
ポイント49	ポイント50	ポイント51	ポイント52
ポイント53	ポイント54	ポイント55	ポイント56

しばうらぼうさいたんけんチーム
ぼうさい探検隊マップコンクール

ポイント1	ポイント2	ポイント3	ポイント4
ポイント5	ポイント6	ポイント7	ポイント8
ポイント9	ポイント10	ポイント11	ポイント12
ポイント13	ポイント14	ポイント15	ポイント16
ポイント17	ポイント18	ポイント19	ポイント20
ポイント21	ポイント22	ポイント23	ポイント24
ポイント25	ポイント26	ポイント27	ポイント28
ポイント29	ポイント30	ポイント31	ポイント32
ポイント33	ポイント34	ポイント35	ポイント36
ポイント37	ポイント38	ポイント39	ポイント40
ポイント41	ポイント42	ポイント43	ポイント44
ポイント45	ポイント46	ポイント47	ポイント48
ポイント49	ポイント50	ポイント51	ポイント52
ポイント53	ポイント54	ポイント55	ポイント56

Point 評価されたポイント

- 区の出張所、消防署、コンビニなど、多くの方にインタビューをすることで、知見を得る機会を多く作り出していると同時に、「高層マンションの中に居ると危ないと考え外へ行くと、かえって危険な場合があること」や「垂直避難も避難の方法であること」など、臨海部の住宅街に適した避難方法について学んでいる。
- 自身が暮らす地域の防災資機材を詳しく調べ、地域特有の運河の存在や防災船着き場という特殊な施設などが災害時に有効な施設であることを知り、地域への理解を深められている。

Voice 喜びの声

じどう みな
チームの児童の皆さん

たんけん さいがい きうえん ぼうさいせん そんざい
まち探検で災害救援ベンダーや防災船の存在やAEDがまちにたくさんあることを初めて知つて驚きました。災害時に役立つ所を探してみんなで協力してマップを作ったり、まちの人たちにインタビューをしたりしたのも楽しかったです。

指導された 山口都さん

ぜん かい かつどう こ かり しつもん
全4回の活動で子どもたちは係や質問など、さまざまなお話を決めて実行に移し、まち探検では競うようにたくさんのポイントを発見しました。それが芝浦ならではの防災を知り安心にも繋がったと思います。ありがとうございました。



こうえきざいだんほじん
公益財団法人かわさき市民活動センター

ちよがおかぶんか
千代ヶ丘こども文化センター

「ちよこぶんブラザーズ」

神奈川県

学年 3、4年生

人数 3人

分野 交通安全

Point 評価されたポイント

歩道や段差の状況などを子どもならではの視点で分かりやすく撮影しているほか、まち探検を通じて、坂の多い住宅地であるという特性や、子どもたち自身が地域を歩くうえでの危険箇所(段差や滑りやすい場所)を把握し、交通安全意識を向上させたことがうかがえる。

警察署でのインタビューを通じて、地域の交通事故による死亡事故が少ないことを学んだり、交通安全マナーを守る重要性についての理解を深めたりしたことがうかがえる。

Voice 喜びの声

チームの児童の皆さん

住む地域の危険な場所や安全な場所を細かく調べ、パン屋さんと警察署でインタビューをしました。たくさんまちのことを考えるきっかけになりました。最後にみんなで美味しくパンを食べて、楽しくマップづくりができました！

指導された 小野田 民枝さん

たくさんの気づきや発見がありました。麻生区は地域の方の意識が高く、交通事故が少ないことが分かり、子どもたちは地域への愛着が一層増し、誇らしく思えた様子でした。寒い中がんばったみんな！おめでとう！



もとやまだいさんしょうがこうくぼうさいふくし
本山第三小学校区防災福祉コミュニティ MKBT

「MKBT」

兵庫県

学年 3~6年生

人数 9人

分野 防災

Point 評価されたポイント

阪神・淡路大震災の発生から約30年が経過し、被災経験のある地域住民が次第に減少していくなかで、住民への体験談のインタビューや、消防署や消防分団へのインタビューを通じて、子どもたちが防災の重要性を認識したこと、また、災害伝承や地域防災力の向上に大きく貢献したことがうかがえる。

過去の災害での教訓が、現在の避難場所や防災施設、資機材といった地域の防災対策に活かされていることに気づけている様子がうかがえる。

Voice 喜びの声

チームの児童の皆さん

防災マップづくりで地域の設備や危険を知り新たな発見が多く、学びになりました。協力して仕上げた努力が受賞で報われてうれしいです。多くの人に役立てほしいです。

指導された 田辺 瑞枝さん

探検で気づいたことを出し合い、分からることは地域の方に伺いながら、交流を通じて防災意識を高めることができました。このような機会をいただき、さらに受賞までさせていただき、心より感謝します。

応募状況

表中の色文字は、入賞9作品・審査員特別賞8作品・デジタルマップ特別賞5作品・佳作60作品のいずれかに該当する小学校・団体です。

都道府県	応募団体数	応募作品数	児童数	学校・団体名
北海道	12	47	165	札幌厚別区少年消防クラブ協議会／ 特定非営利活動法人子ども支援ホーム学童保育じんぶ中道クラブ ／一般社団法人かやぶきの家まねきや／札幌市立伏古小学校／ 豊浦町立豊浦小学校 ／北海道函館市立八幡小学校／ともえキッズ／太小探検隊／光野キッズ／ハホニコキッチン／釧路キッズ探検隊／高台小学校ぼうさい探検隊Bチーム
秋田	4	7	22	秋田県能代市立第五小学校／あけぼの探検隊／ねこ丸／まちだ★キッズ
青森	3	17	152	むつ市立大畠小学校／青森県八戸市立城下小学校／ 青森県八戸市立田面木小学校
岩手	4	5	50	東徳田1区子供会／新田1区子ども会／ 紫波町立西の杜小学校 ／ヨコヤマ探検隊
宮城	15	46	381	仙台市大野田児童館／NPO法人アスクイ仙台市東六番丁児童館／ 仙台市荒町児童館 ／松島町児童館／仙台市立原町小学校／ 宮城県仙台市立郡山小学校 ／仙台市立荒町小学校／ 宮城県大崎市立三本木小学校 ／宮城県岩沼市立玉浦小学校／ 石巻市立北上小学校 ／たけくまパトロール隊／イーグル探検隊／遠藤探検隊／仙台市福室児童館／亘理防災探検隊
山形	3	3	11	興譲キッズ／舟形ビッグサンダーズ／舟形クローバーズ
福島	11	18	134	裏磐梯児童クラブ／ 福島県相馬市川原町児童センターみづばち防災探検隊 ／西部子ども公民館放課後児童クラブこすもすクラブ／塙町立笠原小学校／田村市立船引南小学校／福島県郡山市立湖南小中学校／いわき市立錦東小学校／おばけめいろ探検隊／なかよしチーム／東部こども公民館かもめクラブ／高久探検隊
茨城	19	22	92	Kids Creation Afterschool／ 茨城県結城郡八千代町立西豊田小学校A ／茨城県結城郡八千代町立西豊田小学校B／YOSHIZAWA探検隊／笠原SSS／水戸市吉田小探検隊／チームさかどっこ／YOSHIZAWA五十嵐組／まいのかまぼこ探検隊／もりやたんけんたい／吉田サッカースポーツ少年団／ヴェレン大洗／スクールロード探検隊／百合が丘防災探検隊／FCヴェレン大洗／半田ツインズ／安全なまちにしたい／結いのまち探検隊／茨城県守谷市立松ヶ丘小学校大石
栃木	3	3	10	大田山地区育成会／すずめ探検隊／スマイルキッズ
群馬	3	3	7	大石きっず／足仲キッズ探検隊／笠懸10区こどもたんけん隊
埼玉	10	89	377	埼玉県川口市立芝南小学校／埼玉県川口市立新郷小学校／ 埼玉県所沢市立清進小学校 ／草加市立新田小学校／穴澤／イオンチアーズクラブ熊谷／羽生チーム／北本探検隊／なかよし探検隊／ガールスカウト埼玉県第67回ジュニア部門
千葉	10	107	499	千葉県長生郡一宮町立一宮小学校／栄町立安食小学校／ 柏市立高柳小学校 ／習志野市立袖ヶ浦西小学校／船橋市立高根東小学校／千葉県市原市立ちはら台桜小学校／千葉県印西市立大森小学校／千葉県長生郡長生村立八積小学校／習志野探検隊2025／チーム桜2
東京	20	88	535	北多摩西部消防少年団／台東区立千束児童館／ 台東区立池之端児童館 ／角田子供会／保塚町町会子供会／東京都足立区立西新井小学校／小金井市立本町小学校／東京都足立区立伊興小学校／羽村市立富士見小学校／目黒区立田道小学校／大田区立入新井第二小学校／布田6丁目探検隊／ しづらぼうさいたんけんチーム ／ミラキュラス探検隊／コスモス／いとこと探検隊／真空拳キッズ／三浦バトルシップラザーズ／小平市第4小キッズ／ガールスカウト東京第2団
神奈川	12	47	247	(公財)藤沢市みらい創造財団青少年事業課辻堂青少年会館／ 公益財団法人かわさき市民活動センター下沼部小学校わくわくプラザ ／古川小学校わくわくプラザ／東柿生小学校わくわくプラザ／ 公益財団法人かわさき市民活動センター千代ヶ丘こども文化センター ／横浜市立荏田南小学校3年生／相模原市立旭小学校／秦野市立南が丘小学校3年1組／金田地区ぼうさい探検隊／あおば探検隊／深沢キッズ／ガールスカウト神奈川県第53回
新潟	6	9	29	塩沢金城わかば児童館／きたしろ探検隊／ 六小防災探検隊 ／さいとうプラザーズ／坂井輪中学校区青少年育成協議会／下町たんけんたい
富山	2	2	4	レッドキッズ／たかせいキッズ

表中の色文字は、入賞9作品・審査員特別賞8作品・デジタルマップ特別賞5作品・佳作60作品のいずれかに該当する小学校・団体です。

都道府県	応募団体数	応募作品数	児童数	学校・団体名
石川	42	46	331	社会福祉法人愛里巣福祉会放課後児童クラブアクティ8／放課後児童クラブカメリアクラブ／社会福祉法人愛里巣福祉会アリスこどもの国／社会福祉法人愛里巣福祉会放課後児童つばきクラブ／かほく市子ども会高松支部下桜子ども会／かほく市子ども会高松支部上伊丹町子ども会／かほく市子ども会高松支部学園台子ども会／ かほく市子ども会高松支部内高松子ども会 ／ かほく市子ども会高松支部南中町子ども会 ／かほく市子ども会高松支部夏栗子ども会／かほく市子ども会高松支部ニツ屋子ども会／かほく市子ども会高松支部岸川町子ども会／かほく市子ども会高松支部六流子ども会／ かほく市子ども会高松支部南新町子ども会 ／かほく市子ども会高松支部古宮町子ども会／かほく市子ども会高松支部元町子ども会／かほく市子ども会高松支部三北子ども会／かほく市子ども会高松支部東町子ども会／かほく市子ども会高松支部旭町子ども会／かほく市子ども会高松支部長柄町子ども会／かほく市子ども会高松支部中沼子ども会／かほく市子ども会七塚支部木津よつば子ども会／かほく市子ども会七塚支部松浜みどり子ども会／かほく市子ども会七塚支部遠塚ひばり子ども会／ かほく市子ども会七塚支部若草子ども会 ／かほく市子ども会七塚支部青空子ども会／ かほく市子ども会七塚支部白百合子ども会 ／かほく市子ども会七塚支部はまなす子ども会／かほく市子ども会七塚支部外日角子ども会／ かほく市子ども会宇ノ気支部内日角子ども会 ／ かほく市子ども会宇ノ気支部向野子ども会 ／かほく市子ども会宇ノ気支部本町子ども会／かほく市子ども会宇ノ気支部上田名子ども会／かほく市子ども会宇ノ気支部横山子ども会／ かほく市子ども会宇ノ気支部七窓子ども会 ／ かほく市子ども会宇ノ気支部狩鹿野子ども会 ／かほく市子ども会宇ノ気支部大崎子ども会／小松市立那谷小学校／小松市立蓮代寺小学校／西南部探検隊／田中探検隊／しげまさたんけんたい
福井	3	3	8	灯明寺第六／西藤アオヤマキッズ／今立ミニバスケ女子キッズ
山梨	3	9	45	甲府探検隊／安心安全探検隊／山梨YMCA
長野	7	9	28	開智児童育成クラブ／通学路安全隊／チームRMG／こども防災会議いなりやま／ ㈱フジカーランド上田ぼうさい探検隊 ／たかぎ村ぼうさい探検隊／櫻桃兄弟探検隊
岐阜	9	29	134	滝呂地域力向上実行委員会／瑞浪市立陶小学校ひふみ子供会／ 岐阜県関市立板取小学校 ／岐阜県安八郡神戸町立下宮小学校／山県市立伊自良南小学校／ただこし探検隊／ぎふ・とみか探検隊／大八まちづくり協議会／高山市立東小学校防災クラブ
静岡	11	62	264	掛川市立西山口小学校／静岡県静岡市立清水岡小学校／ 吉田町立住吉小学校 ／しまだっこぼうさい探検隊／カラーズ／上島キッズ／貴布祢4区子ども会／さなるキッズ／TEAM絆／ガールスカウト静岡県第34団／ガールスカウト静岡県第24団
愛知	19	37	174	常滑市北条地区防災担当係／ 豊橋市立新川小学校 ／蟹江町立舟入小学校／豊橋市立野依小学校／ 新城市立庭野小学校 ／愛知県豊田市立足助小学校／愛知県西尾市立室場小学校／ゆうた防災／Wちひろ／八幡学区探検隊／危ないとこ探検隊／滝川探検隊／姫島探検隊／かみやま探検隊／むかいやま探検隊／わかたけ探検隊／ペンギン調査隊／スナネコ調査隊／ボイスカウト名古屋第11団カブスカウト隊
三重	6	32	161	鳥羽市かもっこ放課後子ども教室／鳥羽市あらっこ放課後子ども教室／羽津地区まちづくり推進協議会／ひかりっこ広場／ 安楽島キッズ探検隊 ／日本ボーイスカウト三重連盟桑名3団カブ隊
滋賀	8	17	84	(一財)滋賀YMCA学童保育ワイプラス／篠原第1・第2こどもの家／滋賀県東近江市立蒲生東小学校／なかむら探検隊／ひらたっこぼうさい探検隊／しぶかわキッズ／柊探検隊／わにぼうさい探検隊
京都	5	22	93	京都市立宇多野小学校／城陽キッズ／ももきっず／ 結結探検隊 ／ガールスカウト京都府第50団
大阪	16	95	443	東雲中学校区青少年指導員会／ 高槻市立奥坂小学校 ／堺市立家原寺小学校／ 堺市立三原台小学校 ／ 堺市立英彰小学校 ／城南学園小学校／大阪府大阪市立城北小学校／ナギ&ミサキ／スタジオアカフル／おさくキッズ／セレストキッズ／ジュニア防災リーダー／チームさくら／ことぶき探検隊／日本ボーイスカウト富田林第2団カブスカウト隊1組／日本ボーイスカウト富田林第2団カブスカウト隊2組
兵庫	10	76	301	神戸市立摩耶小学校 ／神戸市立櫨谷小学校／神戸市立鶴甲小学校／ 神戸市立灘の浜小学校 ／神戸市立長田南小学校／潮見台町探検隊／ 本山第三小学校区防災福祉コミュニティMKBT ／雲中探検隊／雲中たんけんたい／ガールスカウト兵庫県第61団
奈良	4	4	19	SN姉妹／みらいまもるキッズ／斑鳩町ホリディ学園／少林寺拳法奈良安堵道院
和歌山	6	45	212	和歌山県有田市立港小学校／有田川町立石垣小学校／ 和歌山県新宮市立三輪崎小学校 ／白浜第一小学校／ 那智勝浦町立勝浦小学校 ／ 有田川町立御靈小学校

小学生だけでなく、さまざまな年齢層の方々が主体となって、「参考作品」としてこの活動に参加されています。

都道府県	応募団体数	応募作品数	児童数	学校・団体名
鳥取	3	3	8	イチミツ探検隊／太陽探検隊／チームはわい
島根	4	13	37	大田市立仁摩小学校／島根県益田市立桂平小学校PTA／しおこは探検隊／浜っ子おおはいごん
岡山	4	9	64	YMCAせとうちグローバルアフタースクール／高島探検隊／YANAGAKU探検隊／ガールスカウト岡山県第11団
広島	8	22	125	藤の木小学校／呉市立安登小学校／広島県呉市立港町小学校／香川大学防災ボランティア講座／チーム川角／チーム貴船／チーム中溝／ボーイスカウト広島県連盟安佐第6団カブ隊
山口	8	22	98	防府市立向島小学校／山口県下関市立向井小学校／岩国市立藤河小学校／山口県周南市立高水小学校／柳井子供ぼうさい探検隊／「KANATAICHII」／大西キッズ2025／KIZUNAシーズン2
徳島	5	5	32	由岐小学校／アワキッズ／京野探検隊／海老沼家／キッズステーションNARUTO
香川	5	11	45	高松市立塩江小学校／香川県さぬき市立造田小学校／高松市立高松第一小学校／麻っ子ぼうえいたい／レインボートハートダイヤモンド
愛媛	5	8	50	愛媛県東温市立西谷小学校／愛媛県愛南町立柏小学校／川本／みさけ探検隊／けんこうブラザーズ
高知	6	41	113	児童養護施設子供の家／高知市立旭小学校／安芸市立井ノ口小学校／高知県土佐市立蓮池小学校／こうちチャレンジ防災探検隊／南海少年寮
福岡	11	25	152	大牟田市立手鎌小学校／福岡県大牟田市立みなと小学校／ぼうさい探検隊／折尾探検隊／長丘ぼうさい探検隊／西の子土曜ジュク／行橋小学校探検隊／小倉大手町探検隊／荘島校区ぼうさい探検隊／早田キッズ／日本ボーイスカウト福岡県連盟那珂川第1団
佐賀	3	3	17	のごみっ子アンゼンジャー／北鹿島探検隊／あかまつぼうさい探検隊
長崎	5	6	144	児童クラブいちにのさん／長崎県長崎市立戸町小学校戸町学童保育たけのこクラブ／千年ファミリー／中島ファミリー／ガールスカウト長崎県第1団ジュニア部門
熊本	5	11	58	八代市立有佐小学校／託西キケン見つけ隊／防災倉庫周ってみたっ隊／玉祥寺たんけん隊4／くまもと元気キッズ
大分	4	11	85	吉野児童育成クラブ／とよおか児童クラブ／ポラリス児童クラブ／碩田学園児童育成クラブ
宮崎	8	8	27	社会福祉法人ゆりかご福祉会ゆりかご児童館ゆりかご児童クラブ／社会福祉法人ゆりかご福祉会第二ゆりかご児童クラブ／宮崎南小学校消防クラブ／こどもエコクラブポニョ／いしづき探検隊／ひなた探検隊／大塚台探検隊／波島探検隊
鹿児島	7	46	206	阿久根市立阿久根小学校／鹿児島市立生見小学校／鹿児島県西之表市立榕城小学校／鹿児島県鹿児島市立西田小学校／福平順大&佳汰／TFビクトリーキッズ／T.K.キッズ
沖縄	30	46	392	わくわく東風平学童クラブ／第二牧港学童クラブ／牧港学童クラブ／第三牧港学童クラブ／学童教室トヨサキキャンパス／豊崎児童クラブ／沖縄県浦添市立宮城ヶ原児童センター／一般社団法人ゆうゆうゆうゆう児童クラブ／平一放課後児童クラブ／沖縄県豊見城市ないろ児童クラブ／沖縄県豊見城市志茂田児童クラブ／ひばり放課後児童クラブ／ひだまり学童CLUB／子供の世界学童クラブ／座安児童クラブ／えくぼ児童クラブ／豊崎学童クラブ／おひさまきっず／シビックセンター学童クラブ／げんき学童／上田児童クラブ／北山学童／糸満がじゅまる児童センター／フレンドスター学童クラブ／國頭村立辺土名小学校／那覇市立那覇小学校／石垣市立伊野田小学校／こくらッコガールズ／安和子どもの家／第4木の国学童クラブ南城市南っ子たい

過去の入選作品

ぼうさい探検隊マップコンクール入選校・団体(第17回～第21回まで)

※「」内はチーム名です。

賞	第17回 (2020年度)	参加団体数／307団体(76校・231団体)	第18回 (2021年度)	参加団体数／371団体(73校・298団体)
		マップ数／960作品		マップ数／971作品
		児童数／5,159人		児童数／5,697人
文部科学大臣賞	北川家 「北川ブラザーズ」(6年生／三重県)	宇和島市立奥南小学校 「板の浦・中浦なかよし組」(3～6年生／愛媛県)		
防災担当大臣賞	宇和島市立三浦小学校 「防災キッズ ファイブスター」(3、4年生／愛媛県)	はちぶせ探検隊 「みんなの命をつなぎ隊 谷瀬三兄弟」 (1、4、6年生／和歌山県)		
消防庁長官賞	北海道札幌南区川沿少年消防クラブ 「川沿未来レスキュー隊」(2～6年生／北海道)	長岡郡本山町立本山小学校 「本山町土砂災害なくし隊」(6年生／高知県)		
まちのぼうさいキッズ賞	福島県相馬市川原町児童センター 「みつばち防災探検隊」(3年生／福島県)	Kids Creation Afterschool 「Kids Creation TSUKUBA ぼうさい探検隊」 (1～4、6年生／茨城県)		
気象庁長官賞	足立区立西新井小学校 「西新井小学校」(5年生／東京都)	公益財団法人かわさき市民活動センター 向丘小学校わくわくプラザ 「みんなのためにがんばる！子どもリーダー」 (1～3年生／神奈川県)		
キッズ リスクアドバイザー賞	岡山県岡山市立宇野小学校 原尾島チーム 「岡山市立宇野小学校 原尾島チーム」 (4、6年生、中学2年生／岡山県)	ひとよし防災ワクワク組 「ひとよし防災ワクワク組」(1、2、4年生／熊本県)		
未来へのまちづくり賞	奥尻町立青苗小学校 「奥尻町 青苗小3・4年 ぼうさいキッズ」 (3、4年生／北海道)	西部子ども公民館放課後児童クラブ こすもすクラブ 「こすもす探検隊」(4年生／福島県)		
わがまち再発見賞	沖縄県浦添市立宮城ヶ原児童センター 「スマイルフラワー」(5、6年生／沖縄県)	小浜市立雲浜小学校 「チームうんぴん」(4年生／福井県)		
ぼうさい探検隊賞	小浜市立雲浜小学校 「雲浜防災マップ作り隊」(3年生／福井県)	奥尻町立青苗小学校 「青苗小3・4年ぼうさいキッズ」(3、4年生／北海道)		
審査員特別賞	中里放課後子ども教室 「中里放課後子ども教室」(4年生／岩手県)	北海道札幌南区川沿少年消防クラブ 「川沿未来レスキュー隊」(3～6年生／北海道)		
	西部子ども公民館放課後児童クラブ こすもすクラブ 「こすもす探検隊」(4年生／福島県)	中里放課後子ども教室 「中里放課後子ども教室」(4年生／岩手県)		
	公益財団法人かわさき市民活動センター 向丘小学校わくわくプラザ 「向丘小学校わくわくプラザ 子どもりーダー」 (1～3、5年生／神奈川県)	相馬市立中村第二小学校 放課後児童クラブ かもめクラブ 「かもめ探検隊」(3年生／福島県)		
	ガールスカウト山口県第3団 「ガールスカウト山口県第3団ブラウニー(3年生)」 (3年生／山口県)	レンジャー探検隊 「レンジャー探検隊」(6年生／茨城県)		
	愛南町立船越小学校 「船越防災隊」(3、4、6年生／愛媛県)	かほく市子ども会 高松支部 内高松子ども会 「地域の皆を守り隊」(6年生／石川県)		
	佐川町立斗賀野小学校 「犠牲者なくそう防災チーム」(6年生／高知県)	かほく市子ども会 宇ノ気支部 栄町子ども会 「栄町キッズレンジャー」(5、6年生／石川県)		
	社会福祉法人 愛育福祉会 こばと児童クラブ 「こばと探検隊」(2年生／宮崎県)	沖縄県浦添市立宮城ヶ原児童センター 「スマイル探検隊」(3、5年生／沖縄県)		
	豊崎学童クラブ 「豊見城安全守りたい」(1～4年生／沖縄県)	北山学童 「みんながたいせつ守り隊」(4年生／沖縄県)		
デジタルマップ特別賞	加美消防署西部分署 「どんこぱっく」(5年生／宮城県)	THE OBATA 「THE OBATA」(6年生／愛知県)		
	ガールスカウト神奈川県第53団 「GS KANAGAWA 53」(3～6年生、中学1年生／神奈川県)	ガールスカウト神奈川県第53団 「GS KANAGAWA 53 2班」(4、6年生／神奈川県)		
	鳥羽市安楽島子ども会 「安楽島キッズ探検隊」(1～6年生／三重県)	いまいすみ児童クラブ 「いづみっこanzen洪水チーム」(3～5年生／静岡県)		
	阿南市立橋小学校 「ぼうさいさんぽ3班」(3年生／徳島県)	鳥羽市安楽島子ども会 「安楽島キッズ探検隊」(1～5年生、幼児／三重県)		
	豊見城市なないろ児童クラブ 「なないろキングス」(3年生／沖縄県)	沖縄県豊見城市なないろ児童クラブ 「防災キッズレインボープロジェクト」(2、3年生／沖縄県)		

第19回 (2022年度)	参加団体数／410団体(84校・326団体) マップ数／1,179作品 児童数／6,137人	第20回 (2023年度)	参加団体数／658団体(113校・545団体) マップ数／1,708作品 児童数／8,904人
福島県相馬市川原町児童センター みつばち防災探検隊 「みつばちぼうさい探検隊」(3年生／福島県)	宇和島市立遊子小学校 「遊子のみんなの命を守り隊」(6年生／愛媛県)		
蓮田安心探検隊 「蓮田安心探検隊」(4年生／埼玉県)	石巻市立北上小学校 「北上小学校」(5年生／宮城県)		
公益財団法人かわさき市民活動センター 東小田小学校わくわくプラザ 「東小田小学校わくわく調査隊」(2、3年生／神奈川県)	有田郡有田川町立石垣小学校 「防災たんけん石垣っ子」(4、5年生／和歌山県)		
北海道函館高等学校 「函齧5年生」(5年生／北海道)	Kids Creation Afterschool 「Kids Creation Afterschool ぼうさい探検隊」(1～6年生／茨城県)		
伊予市立佐礼谷小学校 「佐礼谷小学校ほたる守り隊」(5、6年生／愛媛県)	土佐市立蓮池小学校 「蓮池はーす隊」(5年生／高知県)		
みやだ探検隊 「宮田探検隊」(1、4年生／長野県)	大西キッズ 「大西キッズ2023」(4、6年生、年長／山口県)		
岩手県盛岡市立厨川小学校 境田町子供会 「境田町子ども会」(6年生／岩手県)	旭市立中和小学校 「中和小学校4年1組」(4年生／千葉県)		
レックス探検隊 「とあみり」(4、6年生／滋賀県)	奥尻町立青苗小学校 「青苗小3・4年ぼうさいキッズ」(3、4年生／北海道)		
かほく市子ども会 宇ノ気支部 内日角子ども会 「『STOP！アクシデント』キッズ」(6年生／石川県)	中里放課後子ども教室 「中里放課後子ども教室」(4～6年生／岩手県)		
奥尻町立青苗小学校 「青苗小3・4年 ぼうさいキッズ」(3、4年生／北海道)	相馬市立中村第二小学校放課後児童クラブ いるかクラブ 「いるか探険隊」(3年生／福島県)		
石巻市立北上小学校 「北上小学校4年生(現5年生)」(4年生／宮城県)	福島県相馬市川原町児童センター みつばち防災探検隊 「みつばち防災探検隊」(3年生／福島県)		
公益財団法人かわさき市民活動センター 宮崎こども文化センター 「宮崎こ文パトロール隊」(3、4年生／神奈川県)	西部子ども公民館放課後児童クラブ こすもすクラブ 「こすもす防災探検隊」(4～6年生／福島県)		
宇和島市立奥南小学校 「たんけん隊(船間、楠ヶ浦、大良)」(4～6年生／愛媛県)	小浜市立雲浜小学校 「チーム4雲」(4年生／福井県)		
筒井探検隊 「筒井探検隊」(2、4年生、年少／福岡県)	愛南町立柏小学校 「柏じまんチーム」(3～6年生／愛媛県)		
石垣市立名蔵小学校 「名蔵探検隊」(5、6年生／沖縄県)	愛南町立柏小学校 「チームZAKI」(6年生／愛媛県)		
豊崎学童クラブ 「toyosakiガールズ」(3、4年生／沖縄県)	宇和島市立立間小学校 「八坂・高森」(3～5年生／愛媛県)		
北山学童 「手をつないですすめ隊」(3、5年生／沖縄県)	にこにこ学童大西クラブ 「えがおを守るたんけん隊」(2～4、6年生／沖縄県)		
大野小学校 野木崎地区探検隊 「野木崎地区探検隊」(2、6年生／茨城県)	ガールスカウト神奈川県第53団 「GS KANAGAWA 53」(1、3、4、6年生／神奈川県)		
鳥羽市安楽島子ども会 「安楽島キッズ探検隊」(2～6年生、年長、年中／三重県)	池小学童クラブ サニーサイド 「防犯たんけんパンダ隊」(4年生／静岡県)		
大西キッズ 「大西キッズ」(3、5年生／山口県)	日本ボーイスカウト奈良県連盟 大和郡山第1回カブスカウト隊 「いつもげんき！1組」(3～5年生／奈良県)		
高知県立高知ろう学校 「高知ろう学校小学部」(3、5年生／高知県)	沖縄県豊見城市なないろ児童クラブ 「なないろユニバース探検隊」(3、4年生／沖縄県)		
沖縄県豊見城市なないろ児童クラブ 「オーシャンスカイ探検隊」(3、4年生／沖縄県)	沖縄県豊見城市志茂田児童クラブ 「しもた安全隊」(3～5年生／沖縄県)		

賞	第21回 (2024年度)	参加団体数／419団体(117校・302団体)
		マップ数／1,413作品
		児童数／7,590人
文部科学大臣賞	石巻市立大街道小学校 「令和5年度大街道小4年生」(4年生／宮城県)	
防災担当大臣賞	かほく市子ども会 高松支部 南中町子ども会 「南中町子供会」(6年生／石川県)	
消防庁長官賞	公益財団法人かわさき市民活動センター 東小田小学校わくわくプラザ 「東小田小学校わくわく調査隊」(2～5年生／神奈川県)	
まちのぼうさいキッズ賞	京都市七条第三児童館安全マップつくり隊×七三学区社会福祉協議会 「七条第三児童館×七三学区社会福祉協議会 まち歩き安全マップつくり隊」(4～6年生／京都府)	
気象庁長官賞	愛南町立柏小学校 「柏防災イレブン」(3～6年生／愛媛県)	
キッズリスクアドバイザー賞	ボラリス児童クラブ 「防災6年探検隊」(6年生／大分県)	
未来へのまちづくり賞	いるかクラブ(中村第二小学校放課後児童クラブ) 「いるか探検隊」(3年生／福島県)	
わがまち再発見賞	登米市社会福祉協議会登米支所 とよま防災探検隊 「とよま防災探検隊」(4～6年生／宮城県)	
ぼうさい探検隊賞	鳥羽市安楽島子ども会 「安楽島キッズ探検隊」(1、2、4、5年生、年長／三重県)	
審査員特別賞	仙台市大野田児童館 「チーム『おおのだー』」(5、6年生／宮城県)	
	石巻市立万石浦小学校 「万石浦小学校4年生」(4年生／宮城県)	
	福島県相馬市川原町児童センター みづばち防災探検隊 「すみれ・みづばちぼうさい探検隊」(3年生／福島県)	
	公益財団法人かわさき市民活動センター 渡田小学校わくわくプラザ 「チーム にこ  サン⚡」(3年生／神奈川県)	
	岩国市立川上小学校 「川上ワクワク冒険隊」(3、5年生／山口県)	
	沖縄県浦添市立宮城ヶ原児童センター 「にじいろ探検隊」(2、5年生／沖縄県)	
	沖縄県豊見城市なないろ児童クラブ 「なないろ9探検隊」(4、5年生／沖縄県)	
	こくラッコガールズ 「こくラッコガールズ」(3年生／沖縄県)	
デジタルマップ特別賞	豊浦町立豊浦小学校 「1班豊浦安全第一チーム」(4年生／北海道)	
	ミラキュラス探検隊 「ミラキュラス探検隊」(3年生／東京都)	
	ガールスカウト神奈川県第53回 「GS KANAGAWA 53」(1、2、4、5年生、年長、中学1年生／神奈川県)	
	キッズステーション NARUTO 「あんせんキッズたい」(1、2年生／徳島県)	
	宇和島市立遊子小学校 「番匠かめチーム」(1、3、5年生／愛媛県))	

連続参加団体

これまでの22年間のマップコンクールにおいて、継続的にご応募いただいている小学校・団体(22回のうち第11回以降で11回以上連続のご参加)は以下のとおりです。

連続応募回数	学校・団体名
22回	■愛知県豊田市立足助小学校
21回	■福島県相馬市川原町児童センター みつばち防災探検隊 ■安樂島キッズ探検隊
20回	(該当なし)
19回	■ガールスカウト静岡県第34団
18回	■社会福祉法人ゆりかご福祉会第二ゆりかご児童クラブ
17回	■ガールスカウト神奈川県第53団
16回	(該当なし)
15回	■ガールスカウト静岡県第24団
14回	■ひばり放課後児童クラブ
13回	■かほく市子ども会 宇ノ氣支部 横山子ども会 ■かほく市子ども会 七塚支部 外日角子ども会 ■かほく市子ども会 七塚支部 松浜みどり子ども会 ■和歌山県新宮市立三輪崎小学校
12回	■東部こども公民館 かもめクラブ
11回	■山口県下関市立向井小学校 ■ポラリス児童クラブ ■沖縄県豊見城市志茂田児童クラブ

※第22回より集計方法を変更し、継続参加団体から連続参加団体の記載に修正しております。

今後もぜひ、定期的・継続的な活動として取り組んでいただければ幸いです。



一般社団法人 日本損害保険協会 会員会社一覧

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
アイペット損害保険株式会社
アクサ損害保険株式会社
アニコム損害保険株式会社
AIG損害保険株式会社
エイチ・エス損害保険株式会社
SBI損害保険株式会社
au損害保険株式会社
株式会社NTTドコモ損害保険
キャピタル損害保険株式会社
共栄火災海上保険株式会社

さくら損害保険株式会社
ジェイアイ傷害火災保険株式会社
セコム損害保険株式会社
全管協れいわ損害保険株式会社
ソニー損害保険株式会社
損害保険ジャパン株式会社
SOMPOダイレクト損害保険株式会社
大同火災海上保険株式会社
東京海上ダイレクト損害保険株式会社
東京海上日動火災保険株式会社
トーア再保険株式会社

日新火災海上保険株式会社
日本地震再保険株式会社
ペット&ファミリー損害保険株式会社
三井住友海上火災保険株式会社
三井ダイレクト損害保険株式会社
明治安田損害保険株式会社
株式会社ヤマップネイチャランス損害保険
楽天損害保険株式会社
レスキュー損害保険株式会社

2026年1月現在(会員会社31社50音順)

一般社団法人 **日本損害保険協会**
業務企画部 啓発・教育・防災グループ

〒101-8335 東京都千代田区神田淡路町2-9
TEL : 03-3255-1215 FAX : 03-3255-1236
URL <https://www.sonpo.or.jp/>



ぼうさい探検隊
特設サイト



防災情報サイト
「そんぽ防災Web」